

福岡市科学館

年 報

—2023年度(令和五年度)版—



目次

はじめに.....	2	(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業.....	24
1. 館概要.....	3	① 投映番組.....	24
(1) 設置目的.....	3	② スペシャルイベント.....	25
(2) 沿革.....	3	(4) 学習支援事業.....	27
(3) 事業コンセプト.....	4	① 演示.....	27
(4) 運営基本方針.....	4	② 体験学習.....	29
(5) 福岡市科学館の約束.....	5	③ 学校連携.....	43
(6) ロゴマーク.....	5	④ アウトリーチ活動.....	47
(7) 施設概要.....	6	⑤ サイエンスナビ活動.....	48
① 平面図.....	6	(5) 交流事業.....	49
② 諸室面積.....	7	① 地域交流.....	49
③ 建物の概要.....	7	② リピート利用に向けた取り組み.....	49
④ 工事関係者.....	7	③ 広報・情報発信の状況.....	50
(8) 管理運営.....	8	(6) 育ち支援、ネットワーク形成事業.....	52
① 組織体制.....	8	① 科学館運営へのこどもの参画.....	52
② 各種会議体.....	9	② 運営サポーター活動.....	53
2. 2023年度事業報告.....	11	③ サイエンスキャスト活動.....	55
(1) 利用状況.....	11	④ 連携事業.....	55
① 月別利用状況.....	11	(7) 調査研究事業.....	58
② 団体利用状況.....	11	① 九州大学との共同研究.....	58
③ チケット発券ベースでの利用者層の割合.....	11	② 未来研究室.....	60
④ 利用者の年齢層・居住地・来館回数・満足度.....	12	③ SDGs家族会議.....	60
⑤ 事業別アンケート実施状況.....	13	(8) 施設貸出事業.....	62
(2) 展示事業(基本展示、企画展示).....	16	(9) スーパーサイエンスジュニア事業.....	63
① 各室の展示.....	16	(10) その他の実績.....	65
② 企画展示.....	20	①活動の実績.....	65
		②職員の実績.....	65

はじめに

「福岡市科学館年報2023年度版」をお届けします。福岡市科学館では開館以来、基本展示室での展示・特別展、ドームシアター事業、サイエンスナビ活動などを通じて、科学の楽しさを来館者に伝えるとともに、学校連携やアウトリーチ活動を通じて、来館者以外の子どもたちや市民に主体的な学びの場を提供してきました。来館利用者数は、2023年度末に500万人を突破しました。2023年7月には展示更新を実施し、社会実装が進む「AI(人工知能)」の本質やしぐみを伝える展示や、ロボットの構成要素を扱った展示を公開しました。さらに、来館者の興味に応じて展示や書籍情報を案内する「めぐりステーション」をはじめ、様々な新しい展示が加わり基本展示室の魅力がさらにアップしました。

2023年5～11月には、小学校高学年向けのダーウィンコース(中級)を実施しました。このコースは、アフリカの森で暮らしていた人類が森を出て協力性を高め、高度な知性を獲得して文明を発展させた歴史の流れに沿って進みました。具体的には、5つのテーマ(森・川・街・食・心)について、体験を通じて学ぶ「本講座」と、理解を表現して発表する「探Qゼミ」を行いました。このような取り組みを通じて、学校教育で重視されている正確な理解(形式知)を補い、経験や感性(暗黙知)を育む工夫を重ねました。また、何よりも子どもたちが楽しく取り組めて、驚きを感じられる実験・観察・表現活動となるよう工夫しました。

2023年9～12月には、SDGs家族会議を実施しました。SDGs家族会議は、家族がいっしょになって持続可能な社会の実現について何ができるのかを考え、アイデアを発表するワークショップです。第一回にはゲームで、SDGsについての理解を深めました。第二回には、開発と保全の両立を実現した九州大学伊都キャンパスの生物多様性保全ゾーンを訪問し、対立する課題をウィン・ウインの関係に変えることの大切さを学びました。その後、海でひろった廃品を素材にアート作品づくりに取り組み、校則などの身近なテーマを通じてSDGsについての理解を深めました。12月に実施した発表会では、参加した各家族がすばらしいアイデアを発表しました。

2023年にはAIの技術が大きく進歩し、人間と同様に文字を読み、画像を理解し、会話ができるAIの開発が進みました。AIに代表される科学の進歩によって、私たちの生活は大きく変わりつつあります。福岡市科学館では、科学の楽しさを伝えつつ、科学の成果を市民が活用し、社会を持続可能なものに変えていく目標にも、貢献していきたいと思います。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

2024年6月

福岡市科学館
館長 矢原 徹一

1. 館概要

(1) 設置目的

子どもたちを始め市民が科学を体験し、楽しむことを通じて、自由かつ自発的に学習することを支援するとともに、福岡の人及び資源と連携し、福岡の将来を担う人材を育成することにより、市民の文化教養の向上に寄与することを目的として設置されました。

(2) 沿革

2016年(平成28年)3月25日	福岡市科学館特定事業に関する事業契約の締結
2016年(平成28年)4月1日	設計業務及び開業準備業務のスタート 初代館長に伊藤久徳就任、プロジェクトアドバイザーに高安礼士就任
2016年(平成28年)6月20日	福岡市科学館ホームページ開設
2016年(平成28年)7月1日	科学技術振興機構「科学技術コミュニケーション推進事業ネットワーク形成型」受託
2016年(平成28年)8月1日	九州大学と組織対応型連携契約を締結
2016年(平成28年)10月1日	着工
2017年(平成29年)1月	福岡市科学館ロゴデザイン決定
2017年(平成29年)4月1日	エルガーホールにて、開館半年前記念イベント開催
2017年(平成29年)8月31日	竣工
2017年(平成29年)9月30日	開館記念式典挙行
2017年(平成29年)10月1日	福岡市科学館オープン 名誉館長に若田光一就任
2018年(平成30年)2月11日	利用者50万人達成
2018年(平成30年)2月15～16日	全国科学博物館協議会(全科協)総会及び研究発表大会等開催
2018年(平成30年)3月24～28日	世界天文コミュニケーション会議2018 in 福岡(CAP2018)開催
2018年(平成30年)6月10日	利用者100万人達成
2018年(平成30年)9月29日	利用者150万人達成
2018年(平成30年)10月	開館1周年記念事業実施
2019年(令和元年)5月26日	利用者200万人達成
2019年(令和元年)6月3～5日	日本プラネタリウム協議会 全国プラネタリウム大会2019・福岡開催
2019年(令和元年)10月	開館2周年記念事業実施
2019年(令和元年)10月14日	利用者250万人達成
2020年(令和2年)10月	2代目館長に矢原徹一就任 開館3周年記念事業実施
2020年(令和2年)11月15日	利用者300万人達成

2021年(令和3年)10月	開館4周年記念事業実施
2022年(令和4年)10月1日	開館5周年記念式典開催
2023年(令和5年)1月29日	利用者400万人達成
2023年(令和5年)10月	開館6周年記念事業実施
2024年(令和6年)3月31日	利用者500万人達成

(3) 事業コンセプト

「サイエンス&クリエイティブ FUKUOKA」

科学と感性の交流拠点として

福岡から未来を創造していく科学館

福岡市の持つポテンシャルを最大限にいかし、科学と感性を融合させた新しい活動展開を行うとともに、科学館を拠点とした福岡における新たな交流と人材育成を図り、福岡の人々とともに未来の福岡を共に創造していく「未来創造型のミュージアム」をめざします。

(4) 運営基本方針

人が育ち、未来をデザインしていく科学館

福岡市科学館は地域とともに人の成長を支えることを第一に考えます。

人は生まれたときから能動的な学習者であり、周りの人々を含む環境と相互作用しながら育ちます。

科学館は、その育つ環境を科学の面からつくるものであり、成長を支えるものと考えています。

ひとりの人が育つには、自らが好奇心を抱き、疑問を持ち、考えを進め、創造性を磨くことが必須です。

そしてそのような経験を経た人は豊かな社会性をも身につけられるはずです。

そのような子どもたちを中心とする人の成長を支援するという意味を込めて、「人が育つ」科学館を目指します。

福岡市科学館は「人が育つ」しくみを様々に工夫していきます。

そのためには、何よりも展示やプログラムが子どもたちを始めとしてすべての人に楽しいものでなくてはなりません。

常に「科学の見せ方・示し方」を工夫・更新し、心に響く驚きと喜びを生み出します。

そしてそれを疑問・探求・創造へとつなげていきます。また人と人の交流と協働を大切にします。

人は、人との交流によって新たな世界が広がり、人との協働によって未来を描くことができるからです。

同時に私たちは、「人が育つ」ことを社会的な広がりの中かで捉えています。

すなわち、「人が育つ」社会・地域づくりをも担うということです。

そのためには、他の文化施設・研究機関等さまざまな機関と連携し、家庭・学校・地域の団体等と協働する必要があります。

そしてその延長として、子どもたちの可能性ある未来と「科学は文化」と認知される社会を展望しています。

これらのことを「未来をデザインする」という言葉で表現しています。

(5) 福岡市科学館の約束

福岡市科学館は次のことをお約束します。

ほぼすべての項目で人が主語になり、またそのために福岡市科学館は何をなすべきかを明記しています。

1. 科学を担う人やクリエイターなどと市民とが交流することによって、新しいサイエンスコミュニケーションのあり方を提案していきます。
2. 幼児から高齢者までに対応する展示とプログラムを充実することによって、すべての人が科学を楽しみ、創造するよろこびがある科学館をつくれます。
3. 子どもたちの好奇心・疑問・考える力・創造性が育つ機会を提供することによって、一人ひとりの科学する力が伸びることに寄り添います。
4. 多様な市民、科学者、教員、保護者などと科学の協働プログラムを開発することによって、子どもたちが社会のなかで成長できる環境づくりに貢献します。
5. 福岡の人、モノ、コトなど、様々な資源を活用することによって、市民が科学的な視野で地域とその未来をデザインし、発信する活動を支援します。
6. 利用者との対話・交流を進めることによって、施設や事業の改善に努め、日々進化する科学館を目指します。

(6) ログマーク

Original Viewpoint / 独自の着眼点

すべての発見のスタートラインは、疑問を持つこと。身のまわりのあらゆることに、独自の感性でレンズを向け、ミクロあるいはマクロの世界を見つめることで生まれる気づきの連続。それは、発見と新たな疑問、そして限りない可能性を与えてくれる。

レンズを通して見えるものは、すべてが科学の世界。何にレンズをかざしてどこに着眼するか、その独自性を尊重して、だれもが疑問を自ら解き明かし、発見する驚きと喜びを体験する場。福岡市科学館は、「サイエンス & クリエイティブ」で新たなステージへ。科学に不可欠な「着眼点」を表現したログマーク。フォーカスすることで、気づきや発見をもたらすレンズであり、空から眺めた福岡市科学館のシルエットでもある。ただし、着眼点次第で見え方は無限。あなたは何に見えるだろうか。

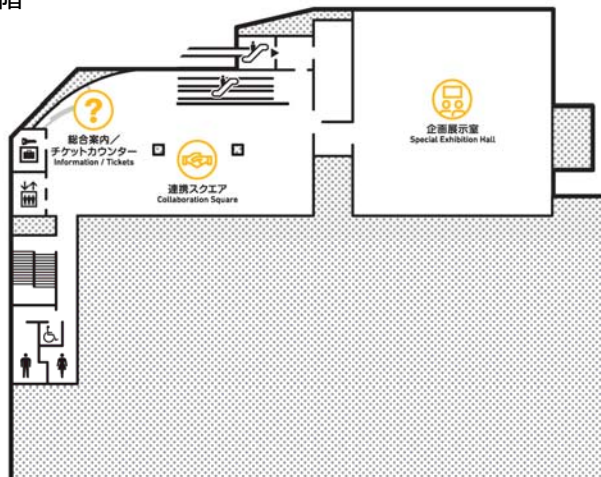


(7) 施設概要

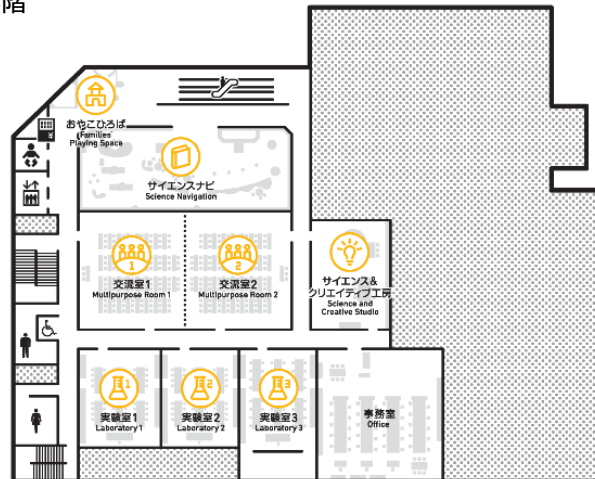
福岡市科学館は、複合商業施設「六本松421」内の3階～6階に設置。

①平面図

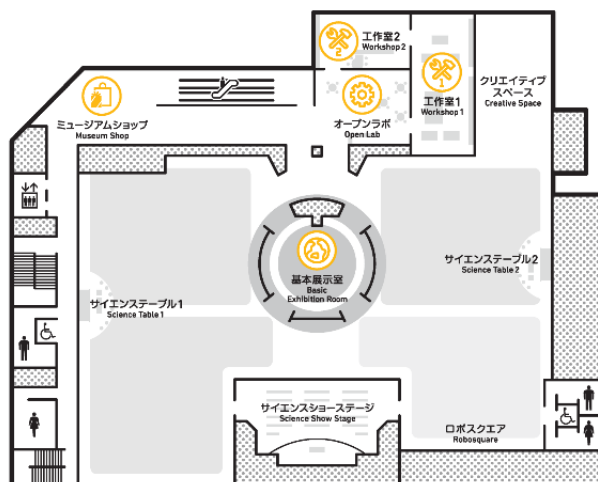
3階



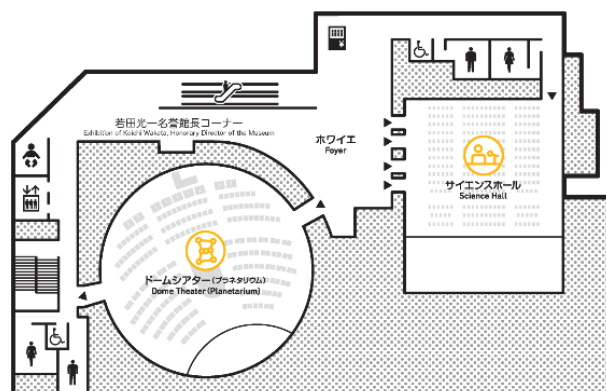
4階



5階



6階



②諸室面積

階	名称	面積(m ²)	席数
6F	サイエンスホール	426.51	300
	ドームシアター	463.53	220
	ホワイエ	442.87	—
5F	基本展示室	1,895.24	—
	工作室1	120.49	—
	工作室2	72.11	—
	オープンラボ	86.92	—
	ミュージアムショップ	62.50	—
4F	サイエンスナビ(※1)	237.32	—
	交流室1	163.11	100
	交流室2	165.08	100
	サイエンス&クリエイティブ工房	111.81	—
	実験室1	104.40	48
	実験室2	100.60	48
	実験室3	133.79	48
3F	ウェルカムホール	52.76	—
	エントランスホール	62.68	—
	連携スクエア(※2)	281.40	—
	企画展示室	510.12	—

※1 科学に関する興味や疑問等について、更に多彩な情報を探索できる無料エリア

※2 企業展示ブース

延床面積合計(バックヤード含む) 10,150m²

③建物の概要

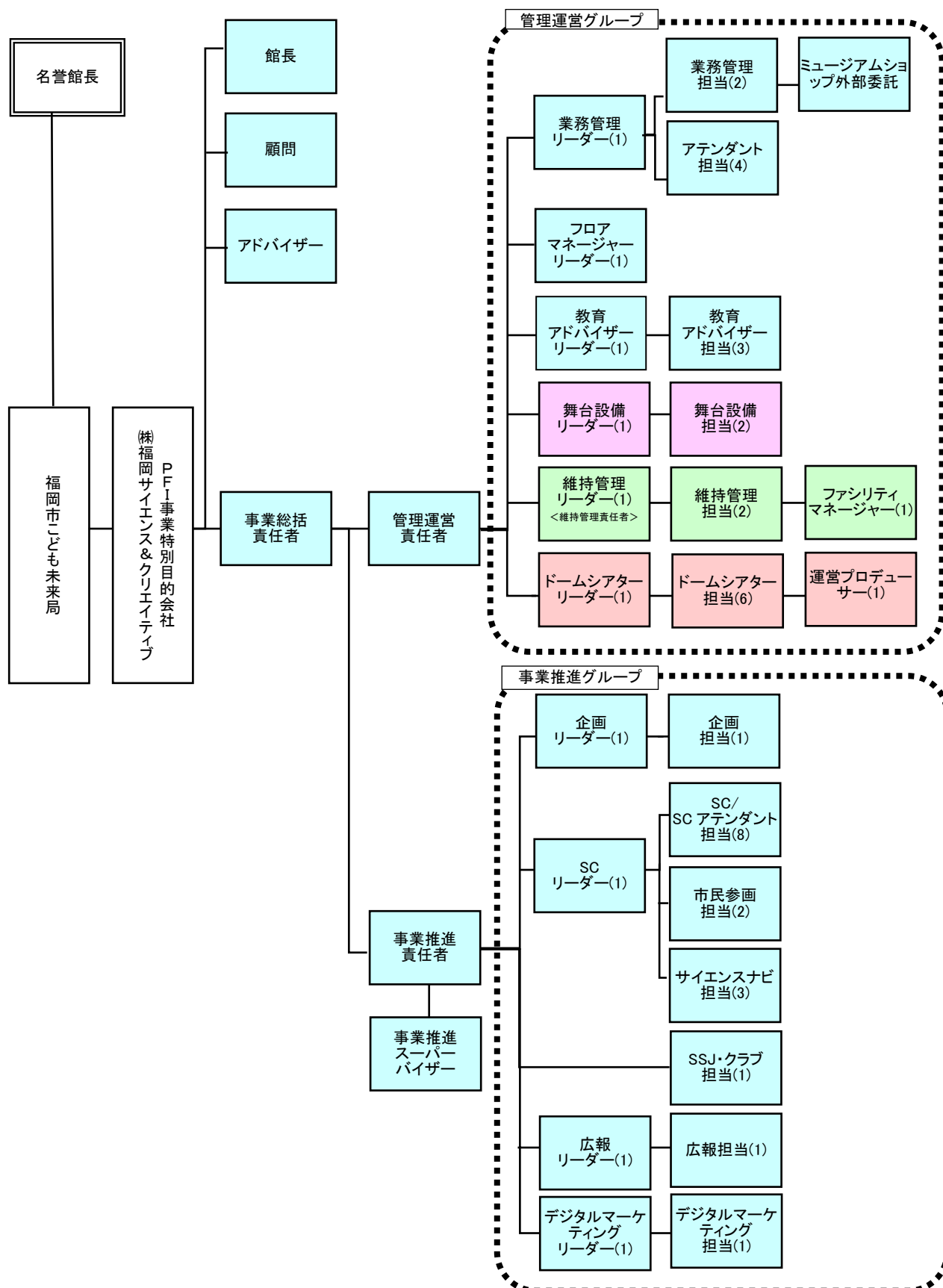
建物名称	六本松421
所在地	福岡県福岡市中央区六本松4-2-1
用途	複合型商業施設
敷地面積	約9,946m ²
総延床面積	約37,000m ²

④工事関係者

設計	建設、設備	株式会社NTTファシリティーズ
	建設、設備	株式会社匠建築研究所設計共同事業体
	展示	株式会社トータルメディア開発研究所
	ドームシアター	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
施工	内装、建築	日建建設株式会社
	電気設備	株式会社島田電気商会
	機械設備	山本設備工業株式会社
	什器、備品	宮川建設株式会社
	展示工事	株式会社トータルメディア開発研究所
	ドームシアター工事	コニカミノルタプラネタリウム株式会社

①組織体制

(2024年3月時点)



②各種会議体

分類	会議名称	開催頻度	目的・内容等
福岡市	指定管理者 評価委員会	1回／年	福岡市が設置する第三者による事業評価委員会。事業者が行う自己評価結果を報告し、客観的な評価と総合して目標達成指標に対する定量的な評価と、事業プログラムの定性的な価値評価を提示し、評価結果を積極的に公開していくことで、事業者による運営状況の透明性の確保と利用者への説明責任の対応を図る。
事業者	運営連絡協議会	1回／月	科学館の運営・維持管理業務について、直近の実績と今後の計画について福岡市に報告・調整を行うほか、関連する情報の共有や協力体制の検討を行う。
	コア会議	1回／月	館を運営する事業者の幹部で構成され、館のミッションと事業内容との調整を図る。
	サイエンスコミュニケーション開発 会議	2回／年	館長を含む有識者と館スタッフで構成され、今後の館運営の方向性の検討を行う。
	外部評価委員会	1回／年	事業者が設置する外部有識者による事業評価委員会。前年度の事業報告に対する評価・提言等を行う。

■サイエンスコミュニケーション開発会議分科会

サイエンスコミュニケーション開発会議で提示されたテーマに基づき、研究者やクリエイターと館スタッフで組織され、課題等を検討する。2023年度は、以下の4つの分科会を開催。

名称	テーマ	概要
第一分科会	多様な学習プログラムの展開	科学館理念とコンセプトを重視したプログラムを展開していくとともに、「福岡市科学館が地方科学館として求められていること」、「現場目線の課題」、「福岡市科学館の在りたい姿」を意識した「福岡市科学館独自のプログラム指標」を作成した。
第二分科会	次世代の展示やプラネタリウムのあり方	科学館における展示やプラネタリウムについて、考えるべき視点を3つに整理した。そしてそれぞれの視点において、考え方をまとめた。視点1は『展示の位置づけ』で「展示の役割は「科学に興味をもつきっかけ」と「多様なアクティビティへつなげるしくみが必要」という考え方、視点2は『取り扱うテーマ』で「社会的課題（問題としてではなく、よりよい未来を考える）」と「ひと（人間を中心に据え、自分自身を知る）」という考え方、視点3は『方向性』で「多様な人を受け入れるような展示を目指す」と「展示は体験的アプローチで楽しく」という考え方が必要であるとまとめた。
第三分科会	「自発的学びを提供できる科学館」に向けて	「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」を理念としている福岡市科学館において、「自発的学びを提供できる科学館」というテーマで、科学情報に関する考え方をより明確にしつつ、福岡市科学館らしい提供のしくみや活動について意見交換を行い、今後の基本的な考え方や提言をまとめた。
第四分科会	ブランディングの確立によるイノベーションの創生	次世代型地域科学館としての在り方の方針を「自由に試せる科学館・考える力を養う科学館」として定めた。また、次世代型地域科学館としてのイノベーションの実施のため、インナーブランディングを推進した。福岡市科学館らしさを内外で共有し、未来を志向し続けられる仕組みを作ることを次年度以降の課題とした。

2. 2023年度事業報告

(1) 臨時休館

2023年7月10日 九州北部豪雨のため臨時休館

2023年8月9日 台風のため開館時間短縮

(2) 利用状況

①月別利用状況

項目	2023年度													構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
開館日数(日)	27	27	26	27	30	26	26	26	24	26	25	28	318	
利用者数	60,008	77,299	77,793	134,554	176,393	55,781	47,916	41,978	41,441	52,105	49,051	75,711	890,030	100%
1日平均	2,223	2,863	2,992	4,983	5,880	2,145	1,843	1,615	1,727	2,004	1,962	2,704	2,799	—
ドームシアター	10,992	12,392	12,286	18,954	27,378	13,282	11,366	9,747	9,527	12,277	10,796	16,316	165,313	18.6%
基本展示室	22,615	23,535	20,875	37,771	60,530	19,954	18,531	15,642	14,948	22,575	19,491	31,100	307,567	34.6%
企画展示室	9,046	14,789	28,212	35,809	32,628	4,640	1,125	2,505	2,854	2,276	0	7,186	141,070	15.8%
サイエンスナビ	13,449	13,858	12,642	20,833	29,401	12,560	11,328	9,563	9,276	11,895	11,960	15,616	172,381	19.4%
その他(※1)	3,906	12,725	3,778	21,187	26,456	5,345	5,566	4,521	4,836	3,082	6,804	5,493	103,699	11.6%

(単位:人)

※1 各種体験学習プログラムの実参加人数と貸室利用人数を集計

②団体利用状況

項目	2023年度													構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
開館日数(日)	27	27	26	27	30	26	26	26	24	26	25	28	318	
団体来館数	4	23	59	35	13	42	60	54	40	37	45	30	442	100%
1日学習	1	9	19	7	—	21	15	15	14	19	19	7	146	33.0%
学校等団体	3	12	34	18	2	20	38	33	23	13	22	16	234	52.9%
一般団体	—	2	6	10	11	1	7	6	3	5	4	7	62	14.0%

(単位:団体)

③チケット発券ベースでの利用者層の割合(基本展示室・ドームシアター一般番組・年間パスポートの合計)

大人 47.5%	高校生 1.7%	小中学生 50.8%
-------------	-------------	---------------

④利用者の年齢層・居住地・来館回数・満足度

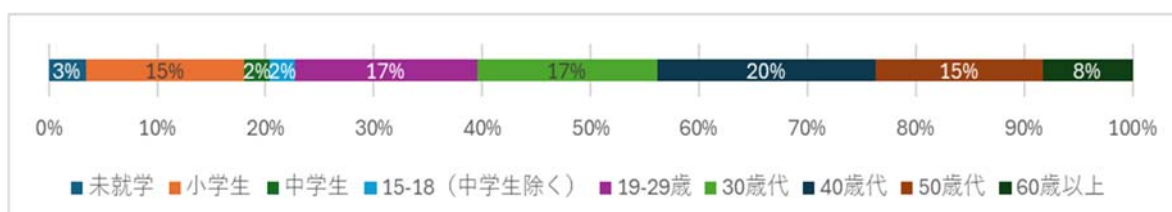
福岡市科学館2023年度利用者アンケートや事業別アンケートからデータを抜粋。

■来館者年齢層（n=4,280）

設問「あなた自身についてお聞かせください:年齢」

幅広い年齢層に利用されているものの、例年同様中高生（12歳～18歳）の利用者の比率が低い。

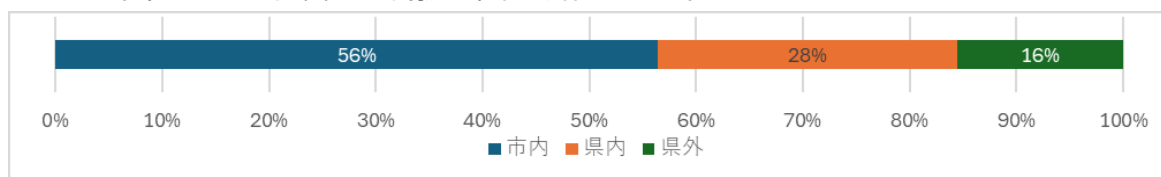
講演会や、ドームシアターでのコンサート等、イベントにより30歳代から60歳代の来館比較的高い。



■居住地（n=3,709）

設問「あなた自身についてお聞かせください:お住まい」

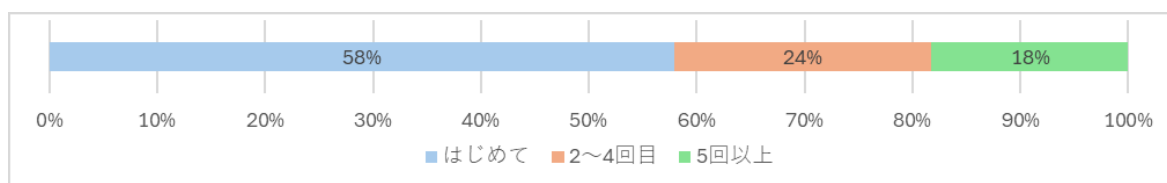
前年度に引き続き県外からの来館者は少ないが、ドームシアターのイベントなどで県外からの来館者が多くみられた。県外からの来館者が1割強と昨年より伸びている。



■来館回数（n=3,553）

設問「当館に来られたのは何回目ですか」

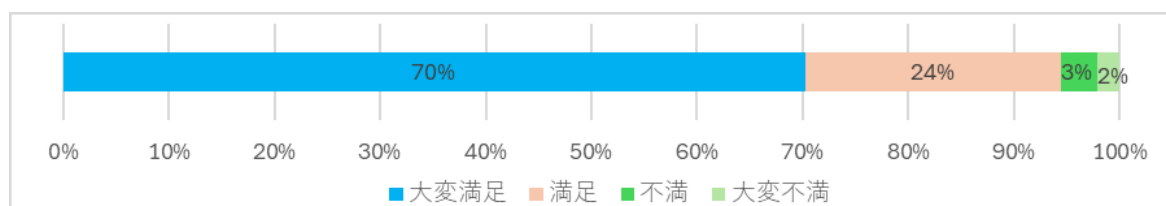
はじめての来館者が昨年度に続いて増え、半数を上回った。



■満足度（n=5,012）

設問「満足度はいかがでしたか？」

利用者の満足度は高く「大変満足」昨年度同様、概ね満足していただいていると考えられる。



⑤事業別アンケート実施状況

大分類	小分類	活動名	実施時期	回収数
ドーム シアター事 業	スペシャル イベント	SNJ106 プラネタリウム100周年記念 特別 放映「爆笑天文教室 ブラック星博士 福 岡征服計画!」「明石市立天文科学館長 プラネタリウム特別放映」	4月16日	33
		特別上映会 松本零士氏 追悼「銀河鉄道 999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」	5月10日	73
		SNJ107 星語り 月のある風景	5月28日	23
		SNJ108 国立天文台 山岡均氏 講演会 「人類、宇宙を探る」	6月3日	13
		『LIVE in the DARK tour w/伊澤一葉』福岡 公演	6月17日	79
		360° -VR PLANETARIUM TOUR-	7月24日～8月25日	2
		SNJ109 星兄の爆笑プラネタリウムショー	8月27日	24
		特別上映会 ピンク・フロイド - The Dark Side Of The Moon	9月15日～9月17日	112
		SNJ110 ドームシアター解説員が読み解く 『銀河鉄道の夜』	10月7日	47
		全国一斉 プラネタリウム100周年 記念イ ベント	10月21日	16
		SNJ111 ALLI & AKI YAMAMOTO DOMETHEATRE LIVE COSMIC DANCE	10月28日	12
		SNJ112 プラネタリウムでオーロラを体験し よう ～オーロラメッセンジャー中垣哲也 オ ーロラ上映&トークライブ～	11月12日	96
		SNJ113 大人のための熟睡プラネタリウム ～やすらぎの音楽とともに～	11月23日	50
		『LIVE in the DARK tour w/Ms.OOJA』福岡 公演	12月9日	54
		特別上映会 QUEEN -HEAVEN-	12月25日～1月5日	240
		SNJ114 星語り 新春スペシャル 天文トピッ ク2024	1月6日	22
		『LIVE in the DARK w/入野自由』福岡公演	1月12日	141
		SNJ115 星降る南阿蘇2024 ～天文台LIVE 中継～	1月14日	29
		『LIVE in the DARK tour w/moumoon - Beautiful Sky-』福岡公演	2月3日	46
		『AKIHIDE Healing Planetarium』福岡公演	2月3日	9
		SNJ116 プラネタリウムライブコンサート ～二胡とギターと自然のハーモニー～	2月18日	47
		ウクライナの星空 ～福岡北部3館リレー 放映～	2月24日	48
		星兄の爆笑プラネタリウムショー	3月30日	34
	番組	番組アンケート	通年	209
	その他	peatixフォロワー5,000人突破記念	3月30日	158

教育普及事業	サイエンスカフェ	有吾式 天気予報の楽しみ方	4月3日	19
		博多祇園山笠のサイエンスカフェに来てみんしゃい！	5月28日	12
		サイエンスコミュニケーションってなんなんだ？	7月2日	21
		セミの歌を聴いてみよう！～実は不思議なセミの話～	8月4日	16
		子どもと一緒に身の回りの「？」を楽しもう	9月2日	20
		みんなのために損できる!?～社会的ジレンマの不思議～	11月11日	15
		いたるところに科学「スタッフと語らうカフェ」～日常の「なぜ」「なに」をおもしろがってみよう！～	11月25日	3
		もっと好きになる！ツシマヤマネコの魅力	12月2日	16
		禁酒館長VSソムリエ教授～酒と人を語る～	1月20日	22
		ヒマラヤの謎を探る	2月3日	17
	フィールドワーク	サイエンススポットまち歩き ～福岡城址編～	4月8日	8
		はじめてのフィールドワーク「親子ではっぱ探検隊」	6月8日	2
		虫めがねをもってでかけよう	6月10日	3
		コウモリを観察しよう	7月21日	4
		コウモリを観察しよう	8月8日	4
		サイエンススポットまち歩きワンアップ ～地下鉄編～	7月29日、8月2日、19日	12
		のぞいてみよう 顕微鏡から見える世界	8月22日	3
		はじめてのフィールドワーク「親子ではっぱ探検隊」	9月7日	2
		はじめてのフィールドワーク「おやこでしぜんはっけん隊」	9月30日	1
		植物はかせと歩く 秋の自然観察ツアー	10月7日	8
		サイエンススポットまち歩き～旧福岡港海岸線編～	10月14日	5
		サイエンススポットまち歩き～大濠公園編～	11月4日	11
		大濠公園で野鳥を観察しよう	2月3日	3
		大濠公園で野鳥を観察しよう	3月2日	3
	科学実験	toio™(トイオ)であそぼう	5月1日～7日	54
		toio™(トイオ)でビジュアルプログラミング～ダンジョン迷路(めいろ)をクリアしよう～	5月13日～28日	50
	クラブ活動	クラブ活動参加者アンケート	通年	40
	セミナー・講座	若田宇宙飛行士講演会	10月16日	285
展示	新展示	SCシアター利用者アンケート	4月～12月	331

その他	1日学習	一日学習利用者アンケート (引率者回答)	通年	134
	一般団体	団体利用者アンケート	通年	80
特別展・企画展		【企画展】はっけん！福岡のすごい石展	5月13日～21日	119
		【特別展】ヨシタケシンスケ展かもしれない	5月22日～7月16日	2,033
		【特別展】さんねんないきもの事典	7月22日～9月3日	180
館全体		利用者アンケート	通年	352
5階基本展示室		無料化アンケート	1月8日	229
合計				4,974

(3) 展示事業(基本展示、企画展示)

①各室の展示

(a) 展示テーマ

5階基本展示室において、「宇宙」「環境」「生活」「生命」と、未来について考える「フューチャー」からなる参加体験型の展示を通じて、来館者が科学とその見方を楽しく学ぶことができる。

展示テーマ	展示内容
宇宙	宇宙の広がりや様々な方面からアプローチした地球の姿などを体験しながら学ぶ。
環境	地球の環境や生態系、エネルギーの使われ方などを知り、環境の大切さを学ぶ。
生活	交通システムや地震対策、新しいテクノロジーなど、暮らしを支える技術を学ぶ。
生命	体のしくみ、生物の進化などの生命の不思議や最新の医療技術について学ぶ。
フューチャー	サイエンスとクリエイティブの両方の視点から科学技術の今を学ぶ。また、科学の力で新しい星をつくりだすなど、自分たちの未来を考える。



宇宙



環境



生活



生命



フューチャー

(b) 展示更新

■大規模展示更新／中規模展示更新

中規模展示更新の年となる本年は、2022年度の大規模展示更新の展示開発において設定した

1. 科学のおもしろさを伝え、知的好奇心を充実させる

2. 展示同士のつながりを強める

3. より多くの人に科学を楽しんでもらう

この3項目を目的とする展示アイテムを、さらに8点追加し、柱の改修も行った。

1. 「ロボットの3要素」

ロボットの感じる、考える、動くという要素であるセンサー、知能・制御系、駆動系を体験を交えて紹介する。

2. 「にんしきAI ～AIの画像認識～」

画像認識のしぐみをトライアンドエラーしながら体験し理解を深めてもらう。

3. 「ものかきAI ～AIの機械学習～」

ランダムなキーワードから、名言、童謡、小説をAIが作成。文章生成AIの体験ができる。

4. 「せいざAI ～ AIの画像生成～」

星の並びからAIが画像を創造する体験を通じて、AIが処理する情報や表現する方法が多様であることを理解しAIの使い道に多くの可能性があることを理解する。

5. 「ウエルカム展示」

基本展示室で体験する様々な展示の一部が映像で登場し、展示への興味と期待を高める。

6. 「ISS国際宇宙ステーション4KVR体験」

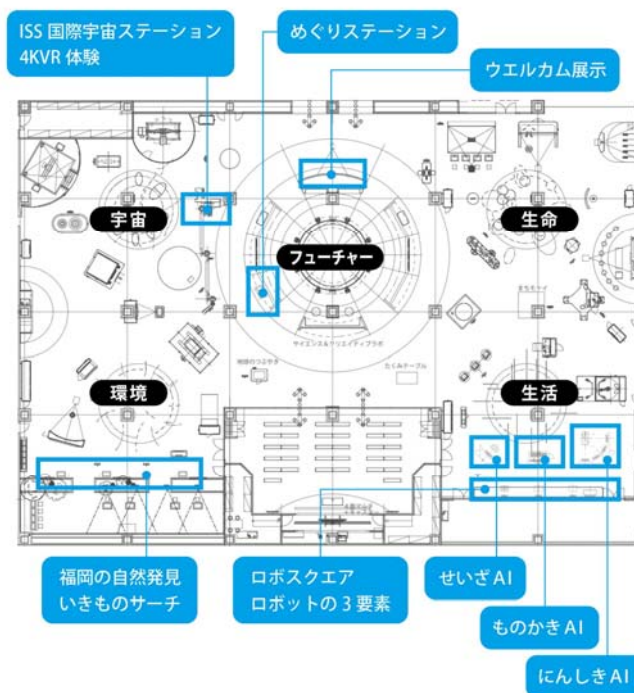
国際宇宙ステーションツアーやロボットアーム操作を、宇宙飛行士の目線で体験できる。

7. 「福岡の自然発見 ジオラマサーチ」

3つのジオラマにどんな生きものがいるか、自分で探したり、クイズに答えたりすることで学べる。

8. 「めぐりステーション」

どのように展示を周遊すれば良いのか、来館者の興味に応じて、展示や関連書籍を紹介する。



柱とロボスクエア周辺(1～4の展示)



6.ISS国際宇宙ステーション



7.ジオラマサーチ



8.めぐりステーション

■クリエイティブスペースの更新

昨年度クリエイティブアワードで入選した一般3作品を、提案者・クリエイター・館スタッフによるワークショップにより展示に向けた検討を行ったが、4月・10月の二期に分けて展示制作を行った。

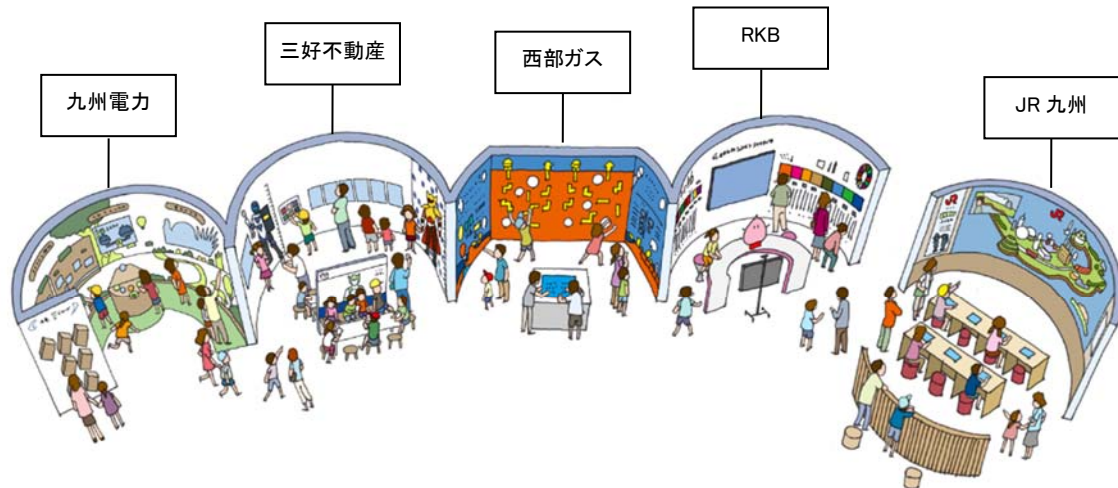
最終選考に残った小学生部門3作品は、クリエイティブスペースの導入部映像として展示公開した。

- (1)【最優秀賞】 『ミクロサイトシーイング』 衛藤司(同志社大学4年)
(2)【優秀賞】 『見せつけろ! マンタドリーム!!』 太楽充羽(久留米大学3年)
(3)【入賞】 『年表ボタンでひとつとび』 石原桃香(横浜市立大学3年)



(c) 連携スクエア(SDGs)

持続可能な開発目標(SDGs)をテーマに、地元企業および福岡の大学・研究機関と連携する企業を紹介している。体験型展示で企業が持つ技術の特性や機能、SDGsの取り組みをわかりやすく伝える。現在の展示は、2023年10月に「SDGs+ゆたかな福岡」をテーマにリニューアルオープンした。持続可能な未来のために、私たちに何ができるのか体験を通して考えることができる展示である。



■九州電力

電気がどこでどのようにつくられてどのように暮らしに届けられるのか、また、その電気が街や暮らしを明るくすることを体感できるブース。また、低炭素で持続可能な社会づくりへ向けた取り組みを学ぶことができる。

■三好不動産

企業におけるレジリエンス視点の住宅技術の普及や、防災、地域の復旧・復興支援、清掃活動、薬育などの持続可能な住環境について映像や体験展示で学ぶことができる。地元のヒーロー「ドゲンジャーズ」はSDGs貢献活動の協力者として連携している。

■西部ガスホールディングス

ガスがつくられ私たちのところに安全に届くまでを、身体を動かすゲームを通じて学ぶことができるブースである。タッチパネルでは、SDGsに向けた西部ガスの取り組みについて、絵合わせゲームで体感することができる。

■RKB毎日放送

「SDGsスタジオ」として、実際にテレビ番組などの収録がおこなわれるブース。壁面の映像では、SDGsの17の各目標について、それぞれどのような取り組みがなされているのかを学ぶことができる。

■九州旅客鉄道

ミライトレインを選定し、ミッションをクリアしながら持続可能なミライマチを考えるコンテンツ。ミッションは電車の中でこまっている人を助ける「やさしいマチ」、野菜を育てるお手伝いをする「あんしんなマチ」、環境にやさしい列車の運転を体験する「げんきなマチ」がある。

②企画展示

(a) 特別展

■特別展「特撮のDNAーゴジラ 特撮の科学展ー」

開催趣旨	「特撮」とは特殊技術撮影の略称で、その技術を用いた特撮映画は誕生以来、多くのファンに愛されている。 近年はCGやデジタル技術を駆使した映像が当たり前になりつつあるが、かつては美術スタッフが市街地や山並みのミニチュア・セットを建て、造形師が怪獣などのスーツを作り、そのスーツにアクターが入って演じ、映像に命を吹き込んだ。ギニョールと呼ばれるハンドパペットのような小型の造形物や、何十人もの技術者が操演する巨大な造形物が使われることもあった。こうしたアナログ技法で映像を作り上げるには、初期段階で試行錯誤しながら描かれるスケッチや、造形物のひな形等が重要な役割を担うが、CGを駆使した最新の映画でもその重要性は変わっていない。本展では、昭和の時代から現代まで進化を続ける特撮を、ゴジラを始めとする東宝特撮映画の撮影に使われたスーツや造形物、細部まで緻密に作りこまれたミニチュア・セットなど「本物」の資料を通して紹介する。
開催期間	2023年3月18日(土)～5月14日(日) ※火曜日休館(ただし、3月21日(火祝)は開館し22日(水)は休館。ゴールデンウィーク中は毎日開館)
入場者数	16,514人(2023年4月1日～5月14日までの人数)
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、テレビ西日本、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
特別協力	西村祐次(M1号)、若狭新一(MONSTERS INC.)
協力	東宝株式会社、株式会社ADKエモーションズ、株式会社ロム・シェアリング、株式会社山元
展示協力	株式会社カラー、アニメ特撮アーカイブ機構、井上泰幸展実行委員会、三池敏夫、福岡特撮座談会、坂口将史
企画・制作	特撮のDNA展制作委員会
入場料	大人 1,400円(1,300円) 高校生 1,000円(900円) 小・中学生 500円(400円) 未就学児無料 ※()は前売・団体料金 ※団体料金は有料入場者30名以上で適用、福岡市科学館3階チケットカウンターにて購入可。 ※次の方は、無料で入場可能。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人(コピー可、ミライロID可)。特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人(コピー可、ミライロID可)。
展示内容	映画ゴジラを撮影するために制作された怪獣スーツや模型など
関連イベント	3月17日 若狭新一氏ギャラリートーク 4月15日、16日 ゴジラのキャンドルをつくろう! 4月22日 特技監督 浅田英一氏ギャラリートーク 5月5日 ゴジラぬりえ缶バッジをつくろう 5月6日 映像の魔術・特撮 雲海づくりを体験しよう! 5月13日 特技監督 鈴木健二氏ギャラリートーク

■特別展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」

開催趣旨	絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』(2013年)以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。頭のなかに広がる果てしない妄想やアイデア、クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を細いペン先で描き続け、多くの人々をひきつけている。ヨシタケシンスケは絵本を出版する以前から、イラストレーター、造形作家として活躍してきた。初の大規模個展となる本展では作家の「頭のなか」をのぞいてみる。
開催期間	2023年5月22日(月)～2023年7月16日(日)※毎週火曜日休館
入場者数	61,036人
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、西日本新聞社、テレQ、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、白泉社
後援	西日本鉄道
協力	アリス館、PHP研究所、ブロンズ新社、ポプラ社
入場料	一般 1,300円(1,200円) 中高生 1,000円(900円) 小学生 600円(500円) 未就学児無料 ※()は団体料金 ※団体料金は有料入場者30名以上で適用、福岡市科学館3階チケットカウンターにて購入可 ※前売券は2023年3月18日～5日21日まで販売 ※次の方は、無料で入場可能。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人(コピー可、ミライロID可)。特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人(コピー可)。
展示内容	作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約400点以上を展示。

■特別展「ざんねんないきもの事典」

開催趣旨	『ざんねんないきもの事典』シリーズは、生き物に少しでも興味と愛情をもっていただければとあえて「ざんねん」という言葉を使って、これまでの本ではあまり語られてこなかった生き物の“意外な一面”を紹介している。本展では本に書籍に登場する動物たちをじっくり観察してもらえ。オリジナルのスタンプラリー帳は、ミニ冊子になっていて来場の記念にぴったり。 「どうしてそうなった!？」と思わずつつこみたくなる一生けんめいのどこかざんねんな動物たちに、ぜひ会いに来てほしい。
開催期間	2023年7月22日(土)～2023年9月3日(日) ※期間中は8月29日(火)のみ休館
入場者数	47,006人
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、RKB毎日放送、キョードー西日本
入場料	一般(高校生以上) 1,200円(1,000円) 小・中学生 500円(400円) 未就学児(3歳以上) 300円(200円) 3歳未満は無料 ※()は団体(有料入場者30名以上)料金 ※次の方は、無料で入場可能(スタンプラリー帳は付属なし)。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人(コピー可、ミライロID可)。特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人(コピー可)。

展示内容	いきものが進化するなかで身につけたり捨てたりした能力や体のしくみなどを紹介する本『ざんねないいきもの事典』。この本に登場するハリネズミやウーパールーパー、タカアシガニなど数々の動物をじっくりと観察できる展覧会。
関連イベント	期間中複数日実施 いきものキャンドルをつくろう！ 7月28日 スケッチからわかること いきものの“かたち” 8月20日 おもしろいきもの おって、ならべて、ぬってみよう！ 8月20日 知ってる？うんちのひみつ 8月22日 カニの卵はイクラ！？カニ殻から人エイクラをつくろう！

■特別展「動画クリエイター展」

開催趣旨	情報技術の発展で、誰もが個人の意見や関心、経験を世界中に伝えられるようになった現代。本展では、「動画クリエイター」という現代を象徴するテーマを、楽しく、わかりやすく、ちょっぴりマジメにお届けする。こどもの「なりたい職業ランキング」上位に入るほど、絶大な人気を誇る動画クリエイター（YouTuber）についての紹介となりきり体験も楽しめる。ジブンの考えを表現・発信する力や、新しい時代を生きるヒントがきっとみつかるはず。
開催期間	2023年10月20日（金）～2024年1月8日（月祝） ※毎週火曜日（ただし12月26日（火）、1月2日（火）は開館）、および年末年始（12月28日（木）～1月1日（月祝）は休館）
入場者数	8,760人
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、読売新聞社
入場料	一般 1,500円（1,300円） 高校生 800円（700円） 小・中学生 500円（400円） 未就学児無料 ※（ ）内は前売・有料入場者30名以上の団体料金。 ※次の方は、無料で入場可能。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人（コピー可、ミライロID可）。特定医療費（指定難病）受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人（コピー可）。
展示内容	絶大な人気を誇る動画クリエイター（YouTuber）には、どんな歴史があり、どんな活動をしているのか。本展ではエンタメ、料理、ゲーム、メイク、勉強、音楽などさまざまなジャンルで活躍している9組のクリエイターの素顔や制作の舞台裏をオリジナル動画と共に大公開。会場には彼らの撮影スタジオの再現コーナーや動画制作の体験ブースも登場。撮影や編集、実況など、さまざまななりきり体験も楽しめる。
関連イベント	11月19日 しらスタのリアル【歌唱力向上委員会】in 福岡 12月17日 葉一の「とある男の出張相談室&講演会」 12月17日、22日 動画編集に挑戦！ 12月23日 ひまひまちゃんと一緒にスライムをつくろう！

(b) 企画展

■企画展 はっけん！福岡のすごい石展

開催趣旨	福岡市は日本でも屈指の珍しい石の産地で、当館は、福岡市の天然記念物にも指定されているリチウム鉱物を含むペグマタイトほか、希少な岩石を所蔵している。そんな「福岡のすごい石」をぜひ見てほしい。
開催期間	2023年5月13日(土)～2023年5月21日(日) ※火曜日休館
入場者数	5,781人
会場	5階 オープンラボ
主催	福岡市科学館
特別協力	福岡石の会
入場料	無料
展示内容	天然記念物にも指定されているリチウム鉱物を含むペグマタイトほか、希少な岩石など。
関連イベント	5月13日、14日 福岡石の会90周年記念事業「もっと！もっと！鉱物！」

■企画展 アイデアをカタチに

開催趣旨	つくるを楽しむ アイデアで遊ぶ展覧会。 3階連携スクエア嘉穂無線ホールディングス株式会社のブースでは、2020年秋から3年間かけて、子どもたちから未来をもっとよくするためのアイデアを2万5千枚以上集めてきた。これらのアイデアをもとに、ホームセンターのノウハウで、実際に遊べて、体験できる公園を実現。ホームセンターならではの“アイデアをカタチに”する展覧会。
開催期間	2023年7月22日(土)～8月16日(水)
入場者数	32,172人
会場	5階 オープンラボ
主催	福岡市科学館、嘉穂無線ホールディングス株式会社、株式会社グッデイ
入場料	無料
展示内容	デジタルインタラクティブ展示(発電体験装置)、鉢型すべり台など
関連イベント	期間中毎日開催 つくるを楽しむワークショップ 期間中複数回開催 廃材でつくる空想ワークショップ 8月14日 100人でつくるを楽しむワークショップ

(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業

① 投映番組

最新鋭のプラネタリウムシステムを駆使し、宇宙の最新情報を積極的に紹介し、クイズなどの観覧者とのインタラクティブな展開を取り入れるなど、新しいスタイルの生解説投映を実施。

(a) 一般投映

種別		番組名	投映期間(2023年度)	回数	利用者数
オリジナル制作番組		宙語り 2023春 コスモロジー -宇宙はどうなっているの?-	4月1日～6月5日	104	6,332
		スペースフロンティア ～宇宙飛行士 この一步の為に～	4月1日～9月10日、 3月9日～3月31日	61	1,787
		宙語り2023夏 流れ星を見に行こう！	6月7日～9月11日	169	18,651
		宙語り2023秋 勇者ペルセウス物語	9月13日～12月4日	137	7,454
		宙に架ける ～星の距離を求めて～	9月18日～3月3日	42	1,006
		宙語り2023冬 ここまでわかった！ブラックホール	12月6日～3月4日	136	8,405
		宙語り2024春 ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡 宇宙の果てを探る	3月6日～3月31日	47	3,390
全国配信番組	大人向け	COSMOS ODYSSEY - 宇宙を見つめる探求の旅 -	4月1日～9月11日	211	12,645
		プラネタリウム 時間、空間を超える小宇宙	9月13日～12月4日	96	4,507
		スペースコロニー ～人類の新たな大地～	12月6日～3月4日	68	2,578
		宇宙は寝て待て!? —人工冬眠がひらく未来—	12月9日～3月31日	36	1,677
		ゴッホが描いた星空	3月6日～3月31日	27	2,652
	子ども向け	妖怪ウォッチ♪ コマさんからのSOS！ ブラックホールへレッツゴーだニャン♪	4月1日～6月5日、 12月6日～3月4日	184	18,412
		プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて	6月7日～12月4日	234	31,526
		ヘーゼルナッツ 理想の星をさがして	3月6日～3月31日	37	5,238
	計				1,589

(b) スペシャル投映

番組名	投映期間(2023年度)	回数	利用者数
星宙の未来花 music byスキマスイッチ	4月4日～9月11日	118	4,477
水の惑星 -星の旅シリーズ-	4月3日～4月6日、 5月1日～5月2日	30	2,082
ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～	5月1日～5月2日	2	32
Starry Island 南十字星を見上げて	9月13日～3月4日	123	4,522
Songs for the Planetarium 星空と巡るプレイリスト	3月6日～9月8日	22	800
プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて	3月25日～3月29日	5	116
計		300	12,029

(c) 学習投映・幼保投映

種別	番組名	投映期間(2023年度)	回数	利用者数
小学4年生向け(学習)	月と星	4月28日～3月15日	123	16,488
未就学児向け(幼保)	ほしのおはなし	5月17日、7月6日、10月11日、1月24日	4	282
計			127	16,770

②スペシャルイベント

ドームシアター空間を活用した多目的なイベントを行う。

イベント名	実施日	出演者等 (敬称略)	回数	利用者数
開館5周年記念『サカナクション グッドナイト・プラネタリウム』	4月3日 ～4月6日	出演者なし(番組上映)	4	863
プラネタリウム100周年記念 特別投映	4月16日	井上毅(明石市立天文科学館長)(ブラック星博士)	2	232
ごろ寝タリウム ～想いをかなえるプラネタリウム 特別体験～	4月19日	演出：井土佳菜絵、中山 早弥香(福岡市科学館)	2	73
松本零士氏 追悼 「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」	5月10日 ～5月15日	出演者なし (通常投映に準ずる)	8	745
星語り 月のある風景	5月28日	河野徹也(福岡市科学館)	1	215
国立天文台 山岡均氏 講演会 「人類、宇宙を探る」	6月3日	山岡均 演出：角田絢(福岡市科学館)	1	92

『LIVE in the DARK tour w/伊澤一葉』福岡公演	6月17日	伊澤一葉	2	345
360° -VR PLANETARIUM TOUR- #誰かに見せたい風景	7月24日 ～8月25日	企画・撮影・制作: 山本親弘(福岡市科学館) BGM: haruka nakamura	23	1,206
星兄の爆笑プラネタリウムショー	8月27日	星兄	2	322
ピンク・フロイド - The Dark Side Of The Moon	9月15日 ～9月17日	出演者: なし(作品上映)	4	857
ドームシアター解説員が読み解く 『銀河鉄道の夜』	10月7日	丹野佳代子(福岡市科学館)	1	215
全国一斉 プラネタリウム100周年 記念イベント	10月21日	河野徹也(福岡市科学館) 中継先: 山崎直子他	1	123
ALLI & AKI YAMAMOTO DOMETHEATRE LIVE COSMIC DANCE	10月28日	ALLI、AKI YAMAMOTO	1	83
プラネタリウムでオーロラを体験しよう ～オーロラメッセンジャー中垣哲也 オーロラ上映&トークライブ～	11月12日	中垣哲也 (オーロラメッセンジャー)	2	431
大人のための熟睡プラネタリウム ～やすらぎの音楽とともに～	11月23日	演出: 角野知子(福岡市科学館)	2	302
『LIVE in the DARK tour w/Ms.OOJA』福岡公演	12月9日	Ms.OOJA(vo.) 櫻井大介(pf.) 伊藤修平(Cello.)	2	382
『QUEEN -HEAVEN-』	12月25日 ～1月5日	なし(作品上映)	7	1,433
星語り 新春スペシャル 天文トピック2024	1月6日	丹野佳代子(福岡市科学館)	1	162
『LIVE in the DARK w/入野自由』 福岡公演	1月12日	入野自由	3	609
星降る南阿蘇2024 ～天文台LIVE中継～	1月14日	南阿蘇ルナ天文台 星のコンシェルジュ®	1	191
『LIVE in the DARK tour w/moumoon -Beautiful Sky-』 福岡公演	2月3日	YUKA(moumoon) サポート: eji(ピアノ)、 朝三憲一(ギター)	1	210
『AKIHIDE Healing Planetarium』 福岡公演	2月3日	AKIHIDE	1	108
プラネタリウムライブコンサート～二 胡とギターと自然のハーモニー～	2月18日	ひろこ(二胡)、 ゆうさき(ギター)	1	217
ウクライナの星空 ～福岡北部3館リレー投映～	2月24日	Olena Zemliachenko、 丹野佳代子(福岡市科学館)	2	327
星兄の爆笑プラネタリウムショー	3月30日	星兄	2	261
ピンク・フロイド - The Dark Side Of The Moon	3月25日 ～3月29日	なし(作品上映)	5	247
計			82	10,251

(4) 学習支援事業

① 演示

(a) サイエンスショー

基本展示室の内容に関係あるプログラムや展示とは異なる科学とその見方を感じ取ってもらえるプログラムなど、多様なプログラムを展開し、来館者とコミュニケーションを取りながら実験ライブを実施する。学校休業日は1日6公演、平日は2公演実施。



「＊新規」は2023年度新規プログラム

テーマ	実施期間	回数	参加者数
地震！ぐらぐら！実験ショー	4月～6月	115	4,888
空気ってなあに？	4月～6月	158	7,305
AI！AI！うごけ！ロボットショー	4月～6月	54	3,568
光のナゾを追え！	6月～7月	59	3,391
まわれ！まわれ！ぐるぐる大実験	7月～8月	101	7,084
あっと驚き！ふしぎなサイエンス・アート＊新規	7月～9月	124	7,311
風・なぜ・ふしぎだぜ！	7月、10月～1月	122	4,394
もえろ！燃焼！実験ショー	8月～9月	93	5,835
冷たい世界	9月～11月	60	3,040
ピタッとピカッと マグネットショー＊新規	10月～1月	121	3,561
ドキドキ！おどろき！静電気！	12月～1月	61	2,524
いろんな影で遊びまショー！	1月～2月	60	1,980
ケミカル カラフル マジカルショー	1月～2月	47	1,966
お水でふしぎな実験ショー＊新規	2月～3月	50	3,125
とべ！とべ！サイエンスショー！＊新規	3月	42	2,027
かず先生のわくわくサイエンスショー※1	3月16日	2	180
計		1,269	62,179

※1 3月16日外部講師による特別サイエンスショー

(b) テーブルサイエンス

様々な分野の科学に対する興味・関心を持ってもらえるよう、科学実験の演示、科学の原理・原則の解説や参加型のプログラムなどを実施する。基本展示室内の2ヵ所に配置されたサイエンステーブルで、1日10回実施



「＊新規」は2023年度新規プログラム

テーマ	実施期間	回数	参加者数
サイエンスキャストタイム	4月～3月	759	5,718
磁石であそぼう！	4月	81	681
落ちるふしぎを見てみよう	4月～5月	162	1,123
ふり子のふしぎ	4月～6月	186	1,233
太陽系のなかまたち	5月～7月	190	1,175
このホネ、誰のほね？	6月～8月	192	1,684
月～いろいろなかたち～＊新規	7月～9月	222	1,682
サメってどんな生きもの？＊新規	8月～10月	193	1,811
ゆれのふしぎを考えよう	9月～11月	181	798
博物館実習	9月10日	5	75
雲のひみつ	10月～1月	282	2,050
ミクロの世界をのぞいてみよう	11月～12月	126	922
雷ってなに？＊新規	12月～2月	199	1,064
空気の力を見てみよう	1月～3月	212	1,597
うずうず渦実験をしよう！	2月～3月	134	1,379
スリルまんてん「圧力」実験＊新規	3月	56	556
計		3,180	23,548

※7月10日臨時休館(10回未実施)

【キャスト実施テーブルサイエンス】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	257	225	244	254	284	234	235	241	235	253	221	272	2,955

②体験学習

(a) 体験学習プログラム・イベント

①科学実験プログラム

幼児や小中学生、高校生など、幅広い世代に対し、身に着けるべき知識・技能につながる体験や科学の原理・原則に基づいた科学実験、

1日2回土日祝および市内小学校長期休暇期間に実施。



「＊新規」は2023年度新規プログラム

テーマ	実施日	回数	参加者数
電気と磁石のふしぎ	4月1日～6日、8日、9日、15日、16日、22日、23日、29日、30日、3月23日～26日、28日～31日	44	540
toioであそぼう Go Goロボットプログラミング	5月1日～7日	14	137
toioでプログラミング 『ダンジョン迷路をクリアしよう』	5月13日、14日、20日、21日、27日、28日	12	107
磁石のふしぎを体験しよう	6月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日	16	280
光のとおりみちを観察しよう	7月1日、2日、8日、9日、15日、16日、17日、22日、23日	18	233
ペンの色のひみつを探ろう	7月24日～8月5日	26	467
煮干しの解剖教室	8月6日～8日、10日～16日	20	378
電池をつくろう	8月17日～27日	22	459
草木染をやってみよう	9月2日、3日、9日、10日、16日、17日、18日、23日、24日、30日、10月1日	22	281
光であそぼう	10月7日、8日、9日、14日、15日、28日、29日	14	146
鏡のふしぎ (ビー玉万華鏡をつくろう)	11月3日、4日、5日、11日、12日、18日、19日、23日、25日、26日	20	295
海の生き物をさがそう	12月2日、3日、9日、10日、16日、17日	12	145
ウインドカーを走らせよう ＊新規	12月23日～27日、1月2日～8日	24	306
ピンホールカメラを作ろう	1月13日、14日、20日、21日、27日、28日	12	190
静電気であそぼう ＊新規	2月3日、4日、10日、11日、12日、17日、18日、23日、24日、25日	20	391
錯視の世界 ＊新規	3月2日、3日、9日、10日、16日、17日、20日	14	156
計		310	4511

⑧ものづくりプログラム

身のまわりにある材料を使ったものづくりを体験、科学の原理・原則を楽しみながら学べるプログラム。1日2回土日祝および市内小学校長期休暇期間に実施。



『*新規』は2023年度新規プログラム

テーマ	実施日	回数	参加者数
キーホルダーをつくろう	4月1日～6日、10月1日、7日、8日、9日、14日、15日、21日、22日、28日、29日	32	656
〇〇をつかまえよう	4月8日、9日、15日、16日、22日、23日	12	198
地球くるくるをつくろう	4月29日、30日、5月1日～7日、2月3日、4日、10日、11日、12日、17日、18日、23日、24日、25日	38	777
リング紙飛行機をつくろう	5月13日、14日、20日、21日、27日、28日、3月23日～31日	30	567
ホバークラフトをつくろう	6月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日	16	380
パラシュートをつくろう	7月1日、2日、8日、9日、15日、16日、17日、3月2日、3日、9日、10日、16日、17日、20日	28	604
まるいかざぐるまをつくろう	7月22日～27日	12	294
トントクギのハリネズミ	7月28日 ※1日3回実施	3	27
はかって手がかりをさがそう	7月29日 ※1日3回実施	3	23
オリジナルスイッチをつくろう*新規	7月30日、8月13日 ※1日3回実施	5	50
廃材でつくる空想ワークショップ	7月31日、8月1日～4日、7日～11日 ※1日15回実施(1回30分程度)	150	850
芝ぼうやをつくろう	8月5日 ※1日3回実施	3	18
しゃかしやか！シェイカーキーホルダー	8月6日、12日 ※1日3回実施	6	59
すきまテープの迷路	8月13日 ※1日1回実施	1	10
自分だけのオリジナルスーパーボールをつくろう*新規	8月15日、16日 ※1日4回実施	8	83
光るチャームをつくろう	8月15日、16日 ※1日4回実施	8	80
スライムをつくろう	8月17日～27日、11月3日、4日、5日、11日、12日、18日、19日、23日、25日、26日	42	1,015
紙コップで作るロボットアーム	9月2日、3日、9日、10日、16日、17日、18日、23日、24日、30日	20	333
ふしぎ！絵が消えるカード	12月2日、3日、9日、10日、16日、17日	12	244
モビールをつくろう	12月23日～27日	10	130

マクスウェルのコマをつくらう	1月2日～8日	14	254
マーブリングでカラフル工作	1月13日、14日、20日、21日、27日、28日	12	264
計		465	6,916

◎セミナー・講座

科学への興味・関心の入口となるよう、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向、来館者の要望などに応じて、様々なテーマでセミナー・講座を実施。



テーマ	実施日	会場	回数	参加者数	講師等 (敬称略)
ダーウィン・ニュートンゼミ	4月9日 5月21日 6月4日 7月16日 9月1日 10月8日 11月19日 12月10日 1月21日 2月11日 3月10日	4階 実験室2 4階 交流室1	11	145	福岡市科学館館長 館スタッフ
プリザーブドフラワーアレンジメント講座	4月19日 6月21日 8月23日 10月18日 12月20日 2月21日(中止) ※1	5階 工作室1 (8/23 工作室2)	5	36	宮川弥須子
特別展関連イベント「特技監督浅田英一氏ギャラリートーク」	4月22日	3階 企画展示室	1	25	浅田英一
おもちゃ病院	4月23日 5月28日 6月25日 7月23日 8月27日 9月24日 10月29日 11月26日 12月24日 1月28日 2月25日 3月24日	4階 サイエンス&クリエイティブ工房	12	304	エフネットグループ

博多どんたく港祭り特別極	5月3日 5月4日 5月5日	4階 実験室3	3	44	日本アマチュア無線協会 福岡県支部
未来研究室「認知症フレンドリーシティプロジェクト」	5月5日	6階 サイエンスホール	1	32	笠井浩一（福岡市福祉局認知症支援課長）
特別展関連イベント「特技監督鈴木健二氏ギャラリートーク」	5月13日	3階 企画展示室	1	30	鈴木健二
ダーウィンコース 中級編	5月14日 5月28日 7月9日 7月23日 10月22日 10月29日 11月12日	4階 交流室1 九州大学伊都キャンパス	7	122	矢原徹一 平井康之 村上貴弘 比良松道一 銭琨 館スタッフ
未来研究室「シンポジウム 認知症問題解決のためのサイエンス」	6月4日	6階 サイエンスホール	1	90	中村雅也 大村浩次 鈴木浩 満倉靖恵 西村俊彦 内田直樹 笠井浩一 ※2
「夏休みの自由研究」の準備を科学館で始めよう	7月24日	4階 実験室3	1	24	館スタッフ
特別展関連イベント「スケッチからわかること いきもののかたちからわかること」	7月28日	5階 実験室2	2	24	館スタッフ
特別展関連イベント「知ってる？うんちのひみつ」	8月20日	5階 実験室3	2	45	館スタッフ
特別展関連イベント「カニの卵はイクラ！？カニ殻から人エイクラをつくろう！」	8月22日	5階 実験室3	2	67	館スタッフ
電波教室 ラジオをつくろう	8月26日	5階 実験室3	1	30	福岡県電波適正利用推進員協議会委員
2023年度 博物館実習	8月30日～3日、 9月5日～10日	館内各所	10	50	館スタッフ
SDGs家族会議 in FUKUOKA 2023	9月17日 10月1日 10月15日 11月5日 11月19日 12月5日 12月17日	4階 交流室1 4階 実験室2 6階 サイエンスホール	7	114	矢原徹一 西村俊彦 坂口麻衣子 江口久美 高木正太郎 しばたみなみ 後藤富和 竹内太郎 ※3
【開館6周年記念】若田光一宇宙飛行士講演会	10月15日	6階 サイエンスホール	1	478	若田光一宇宙飛行士（福岡市科学館名誉館長）

サイエンスコミュニケーション講座	12月16日、17日	4階 交流室1	1	19	矢原徹一 井上香織 西澤息吹 高安礼士 仲矢史雄 渡辺政隆 ※4
水素エネルギーを会見 してみよう！	2月23日	4階 実験室3	2	32	館スタッフ
計			71	1,711	

※1 科学館建物の停電の影響が長引く恐れがあったため中止

※2 中村雅也(慶応義塾大学医学部 教授)

大村浩次(APAMAN株式会社 代表取締役社長)

鈴木浩(神奈川工科大学 准教授)

満倉靖恵(慶応義塾大学 理工学部教授・医学部兼任教授)

西村俊彦(スタンフォード大学創薬研究所所長、福岡市科学館顧問)

内田直樹(たろうクリニック院長)

笠井浩一(福岡市福祉局認知症支援課長)

※3 矢原徹一(福岡市科学館館長)

西村俊彦(スタンフォード大学創薬研究所所長、福岡市科学館顧問)

坂口麻衣子(ワークショップユニットnina nino)

江口久美(九州大学持続可能な社会のための決断科学センター特任助教)

高木正太郎(福岡SDGs協会代表理事)

しばたみなみ(アーティスト／描いてつくるヒト)

後藤富和(福岡県弁護士会 校則プロジェクトチーム委員)

竹内太郎(九州オープンユニバーシティ学術研究院)

※4 矢原徹一(福岡市科学館館長)

井上香織(福岡市科学館)

西澤息吹(福岡市科学館)

高安礼士(日本サイエンスコミュニケーション協会、福岡市科学館アドバイザー)

仲矢史雄(大阪教育大学 教授)

渡辺政隆(日本サイエンスコミュニケーション協会 会長)

⑩サイエンスカフェ

科学者との関わりや会話によって、科学への興味を深掘りし、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向について、科学者と科学について気軽に語り合う場を設置。



内容	実施日	回数	参加者数	共催・講師等（敬称略）
有吾式 天気予報の楽しみ方	4月23日	1	20	島田有吾(百道中学校)
博多祇園山笠のサイエンスカフェに来てみんしゃい！	5月28日	1	12	久保山昇生(はかた国際工芸協会)、光岡裕子
オランウータンと私たち	6月10日	1	29	久世濃子(NPO法人 日本オランウータン・リサーチセンター理事)
サイエンスコミュニケーションってなんなんだ？	7月2日	1	21	西澤息吹(福岡市科学館)
セミの歌を聴いてみよう！ ～実は不思議なセミの話～	8月4日	1	17	児玉建(九州大学大学院生)
子どもと一緒に身の回りの「？」を楽しもう	9月2日	1	23	本田隆行(サイエンスコミュニケーター)、中村佳史(HUMIコンサルティング)
みんなのために損できる！？～社会的ジレンマの不思議～	11月11日	1	15	大坪快(九州大学大学院生)
いたるところに科学『スタッフと語らうカフェ』～日常の「なぜ」「なに」をおもしろがってみよう！～	11月25日	1	7	坂部初実(福岡市科学館)、中村佳史(HUMIコンサルティング)
もっと好きになる！ツシマヤマネコの魅力	12月2日	1	18	斎藤裕樹(福岡市動物園)
禁酒館長VSソムリエ教授～酒と人を語る～	1月20日	1	22	副島顕子(熊本大学大学院教授)、矢原徹一(福岡市科学館館長)
ヒマラヤの謎を探る	2月3日	1	16	酒井治孝(京都大学名誉教授)
探求する楽しさを子どもに伝えるには	3月27日 ※8月9日台風で延期	1	16	滝川洋二(ガリレオ工房)
計		12	216	

⑤天体観測会

年間を通して、福岡の天空に広がる星々を直接見てもらう天体観測会を定期的に開催。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	1	24
参加人数(人)	58	15	77	41	16	44	74	68	29	8	37	40	507

※雨天・曇天中止 5月28日、7月7日、8月24日、8月31日、12月20日、1月18日、2月5日

⑥フィールドワーク

福岡市内各所を巡り、身近なまちの景色のなかにある「科学」を発見・体感する体験学習を実施。



内容	実施日	回数	参加者数	共催・講師等（敬称略）
サイエンススポットまち歩き～福岡城址編～	4月8日	1	8	光岡裕子(うきは市森林セラピーガイド)
サイエンススポットまち歩き～旧福岡港海岸線編～	5月13日(中止)、10月14日	2	11	中村佳史(HUMIコンサルティング)
はじめてのFW おやこではっぱ探検隊	6月8日、9月7日	2	10	米村葉月(福岡市科学館)
虫めがねをもってでかけよう	6月10日、10月28日	2	17	坂部初実(福岡市科学館)
ダーウィンコース中級編(街の回・川の回)	6月11日、25日、9月10日、24日	4	78	江口久美・鹿野雄一(一般社団法人九州オープンユニバーシティ) 平井康之(九州大学教授)
サイエンススポットまち歩きワンアップ～地下鉄編～	7月29日、8月2日、8月19日	3	42	中村佳史(HUMIコンサルティング)
コウモリを観察しよう	7月21日、8月8日	2	21	西澤息吹(福岡市科学館)
のぞいてみよう 顕微鏡からみえる世界	8月22日	1	6	坂部初実(福岡市科学館)
はじめてのフィールドワーク「おやこでしぜんはっけん隊」	9月29日、10月26日	2	4	米村葉月(福岡市科学館)
植物はかせと歩く 秋の自然観察ツアー	10月7日	1	17	矢原徹一(福岡市科学館館長)
サイエンススポットまち歩き～大濠公園編～	11月4日	1	8	光岡裕子(うきは市森林セラピーガイド)
大濠公園で野鳥を観察しよう	11月18日(中止)、12月16日(中止)、2月3日、3月2日	4	7	高原和幸(福岡市科学館)
計		25	229	

(b) ロボスクエアに関する運営

YOKAロボまつり等の7つの事業開催と、各種コンテスト出場のための講座を行う。

■大会

実施内容	実施日	回数	参加者数	会場
YOKAロボまつり ・バトル大会	5月28日、7月9日、9月3日、11月19日、12月10日	5	3,257	5階 オープンラボ
ヒューマノイドカップロボ ットバトル大会	2月17日	1	96	6階 サイエンスホール
ロボカップジュニア関 連大会 ・ロボチャレンジ大会 ・福岡ノード大会 ・九州ブロック大会	11月12日 12月3日(中止) ※参加チーム少数のため中止 1月7日	2	108 中止 110	6階 サイエンスホール
火星ローバーコンテス ト	8月5日 準備・コース開放 8月6日	1	160	6階 サイエンスホール
スカベンジャーロボ競 技大会	2月4日(中止) ※参加チーム少数のため中止	0	中止	5階 オープンラボ
ロボメカデザインコンペ	12月9日	1	80	6階 サイエンスホール
出張出前講座(村田製 作所)	① 2月28日 ② 2月29日 ③ 3月1日	5	561	① 西新小学校 ② 春住小学校・西長 住小学校 ③ 千早西小学校・板 付北小学校
NHK小学生ロボコン 福岡市科学館大会	12月23日	1	35	6階 サイエンスホール
計		16	4,407	

■教室

実施内容	実施日	回数	参加者数	会場
YOKAロボまつり練習 会	4月23日、6月18日、8月27日、10月29日、1月27日、2月18日、3月17日	7	50	5階 工作室1
ロボカップジュニア福 岡羅針盤	4月23日 11月18日(中止)※ 12月9日(中止)※ 1月13日(中止)※ ※参加者不足のため中止	1	4	5階 工作室2
火星ローバーロボット 工作教室	7月29日、30日	2	40	5階 工作室1
火星ローバープログラ ミング教室	7月2日	1	14	4階 実験室3

プログラミングロボット 工作教室	5月20日、27日、6月17日、7月8 日、15日、8月19日、9月16日、10 月21日、2月17日、3月16日	10	20	5階 工作室2
スカベンジャーロボット 工作教室	6月17日、8月12日、12月23日	3	26	5階 工作室1
スカベンジャーロボット レベルアップ教室	1月20日	1	3	5階 工作室1
めざせ！福岡市科学 館ロボコンへの道！	11月5日、23日	2	12	4階 実験室3
プログラミング体験教 室	6月10日、10月14日、12月16日、1 月20日、2月12日、24日、3月9 日、20日、25日	9	25	5階 工作室2
計		36	194	

(c) クラブ活動

継続的に共に科学を学ぶ仲間づくりができるよう、自らの興味や関心に応じて自由に参加できるクラブを設置。またオンライン、通年参加、前期・後期の3パターンで実施。

無線クラブは通年で実施。

ネイチャークラブ、こどもの物理クラブ～物理って知ってる？～、デジタル工作クラブ、大人のデジタル工作クラブ、地球科学実験クラブ、宇宙ロボットクラブは、前期・後期で実施。

DX時代のデータ活用クラブ、Web制作クラブはZoomによるオンラインで実施。

■無線クラブ（通年継続講座）

対象：小学4年生～高校3年生、クラブメンバー数：14人、講師（敬称略）：城戸伸夫

実施日	内容
4月16日	クラブ開講式 会員紹介及び年間活動予定
4月16日	無線通信による情報交換、免許取得指導
4月30日	無線通信による情報交換、免許取得指導
5月14日	無線通信による情報交換、免許取得指導
6月11日	無線通信による情報交換、免許取得指導
6月25日	無線通信による情報交換、免許取得指導
7月23日	無線通信による情報交換、免許取得指導
7月23日	無線通信による情報交換、免許取得指導
8月13日	無線通信による情報交換、免許取得指導
8月20日	無線通信による情報交換、免許取得指導
9月3日	半田付け実習・免許取得指導
9月10日	無線通信による情報交換
10月1日	アンテナの製作および実験
10月8日	無線通信による情報交換、免許取得指導
11月19日	PCの初歩、通信による情報交換
12月3日	野外での無線通信実験
12月3日	野外での無線通信実験
12月17日	無線通信による情報交換
1月14日	電子工作
1月28日	無線通信による情報交換
2月11日	無線通信による情報交換
2月25日	無線通信による情報交換
3月9日	（土曜開催）無線通信による情報交換
3月17日	閉講式（見学会）

■ネイチャークラブ

対象：小学3～6年生、クラブメンバー数：前期12人、後期12人、講師（敬称略）：荒木信行

実施日	内容(前期)
4月8日	化石って知ってる
4月22日	天神化石探検
5月6日	表面張力って知ってる
5月20日	目の錯覚（プラネタリウム春）
6月10日	ホタルを観察しよう
6月24日	人の体はどうなってるの
7月8日	メダカや植物の気孔を観察しよう（プラネタリウム夏）
7月15日	種の秘密

8月19日	昆虫採集をしよう
8月26日	樋井川の生き物観察をしよう
9月9日	空気って知ってる
9月23日	月を見よう
実施日	内容(後期)
10月7日	樋井川の生き物観察をしよう
10月28日	化石って知ってる
11月11日	プランクトンと植物(プラネタリウム秋)
11月18日	月を見よう
12月9日	天神化石探検
12月16日	種の秘密
1月13日	ハンドパワー(プラネタリウム冬)
1月20日	バードウォッチング
2月10日	静電気って知ってる
2月24日	人の体はどうなってるの
3月9日	音って知ってる
3月16日	目の錯覚

■こどもの物理クラブ～物理って知ってる？～

対象: 小学3～6年生、クラブメンバー数: 前期12人、後期12人、講師(敬称略): 荒木信行

実施日	内容(前期)
4月8日	飛行機はなぜ飛ぶのか知ってる
4月22日	バランスって知ってる
5月6日	表面張力って知ってる
5月20日	空気砲って知ってる
6月10日	ロケットって知ってる
6月24日	重さって知ってる
7月8日	音って知ってる
7月15日	光って知ってる
8月19日	電磁石って知ってる
8月26日	摩擦って知ってる
9月9日	空気って知ってる(プラネタリウム夏)
9月23日	慣性の法則って知ってる
実施日	内容(後期)
10月7日	飛行機はなぜ飛ぶのか知ってる
10月28日	バランスって知ってる
11月11日	重さって知ってる
11月25日	空気砲って知ってる
12月9日	空気って知ってる
12月16日	表面張力って知ってる
1月13日	ロケットって知ってる
1月20日	摩擦って知ってる
2月10日	静電気って知ってる(プラネタリウム冬)
2月24日	光って知ってる
3月9日	音って知ってる
3月16日	慣性の法則って知ってる

■デジタル工作クラブ

対象: 中学生以上、クラブメンバー数: 前期5人、後期5人、

講師(敬称略): 鈴木智畝、成田玲一、三島健志

実施日	内容(前期)
4月15日	イントロダクション～ネームプレートを作ろう～
4月22日	レーザーカッター①～ハンコを作ろう～
5月6日	レーザーカッター②～オリジナル定規を作ろう～
5月20日	3Dプリンター①～科学館キーホルダーを作ろう～
6月3日	3Dプリンター②～ミニカーを作ろう～
6月17日	カッティングプロッター①～オリジナルサコッシュを作ろう～
7月1日	カッティングプロッター①～家中サインを作ろう～
7月15日	作りたいものを作ってみよう
7月29日	作りたいものを作ってみよう
8月19日	作りたいものを作ってみよう
9月2日	作りたいものを作ってみよう
9月16日	発表会
実施日	内容(後期)
10月7日	イントロダクション～ネームプレートを作ろう～
10月28日	レーザーカッター①～定規を作ろう～
11月4日	レーザーカッター②～オリジナルペンケースを作ろう～
11月18日	3Dプリンター①～科学館キーホルダーを作ろう～
12月2日	3Dプリンター②～オリジナルボールペンを作ろう～
12月16日	カッティングプロッター①～オリジナルサコッシュを作ろう～
12月23日	カッティングプロッター②～ステッカーを作ろう～
1月13日	作りたいものを作ってみよう
1月27日	作りたいものを作ってみよう
2月10日	作りたいものを作ってみよう
2月24日	作りたいものを作ってみよう
3月9日	発表会

■大人のデジタル工作クラブ

対象: 18歳以上、クラブメンバー数: 前期5人、後期5人、講師(敬称略): 鈴谷瑞樹

実施日	内容(前期)
4月12日	Inkscapeとレーザーカッター実習1
4月26日	Tinkercadと3Dプリンター実習1
5月10日	Inkscapeとレーザーカッター実習2
5月24日	Tinkercadと3Dプリンター実習2
6月14日	アイデアスケッチとライセンスについて
6月28日	製作物のアイデア出しとアドバイス
7月12日	製作実習1
7月26日	製作実習2
8月23日	製作実習3
9月6日	製作実習4
9月20日	製作実習5、発表ツールの完成
9月27日	ふりかえり(未完了の作業)
実施日	内容(後期)
10月4日	Inkscapeとレーザーカッター実習1
10月18日	Tinkercadと3Dプリンター実習1
11月1日	Inkscapeとレーザーカッター実習2

11月22日	Tinkercadと3Dプリンター実習2
12月6日	アイデアスケッチとライセンスについて
12月20日	製作物のアイデア出しとアドバイス
1月10日	製作実習1
1月24日	製作実習2
2月7日	製作実習3
2月21日	製作実習4
3月6日	製作実習5、発表ツールの完成
3月27日	ふりかえり(未完了の作業)

■地球科学実験クラブ

対象: 小学3年生以上、クラブメンバー数: 前期20人、後期19人、講師(敬称略): 清水楓太

実施日	内容(前期)
4月2日	タブレット・PCの使いかたを練習しよう!
4月16日	GPS センサーを使ってみよう。君はどこにいるのかな?
5月7日	ジャイロセンサーで木や建物の高さを調べよう。
5月21日	100m 歩いて、地球の大きさを測ってみよう。
6月4日	カメラを使ってニュートンの実験をやってみよう。Part1
6月18日	カメラを使ってニュートンの実験をやってみよう。Part2
7月2日	動物の動きや速さをカメラで調べてみよう。アリの速さはどれくらい?
7月16日	星の動きを調べてみよう。1日は24時間より短いことがわかるよ。
7月30日	ドローンはどうして高さがわかるのかな。1階と2階で気圧は変わることがスマホでわかる?
8月6日	ふりこの実験をスマホでやってみよう。地球と月ではふりこの動きが変わるのかな?
8月20日	発表準備: パワーポイントの使いかたと資料の見せ方
8月27日	研究発表: これまでに行った実験から一つ選んで、みんなの前で発表しよう!
実施日	内容(後期)
10月15日	スマホ・PCの使いかたを練習しよう!
10月29日	重力加速度を調べよう①～速さ・加速度って何?～
11月12日	重力加速度を調べよう②～動画から加速度を調べる～
11月26日	スマホを使って高さを調べよう①～距離と角度を調べる～
12月10日	スマホを使って高さを調べよう②～三角形で高さがわかる～
12月24日	地球の大きさを調べよう①～GPSで緯度と経度を調べる～
1月7日	地球の大きさを調べよう②～歩測と経緯度で大きさ調べ～
1月21日	アリの速さを調べる～観察の準備～
2月4日	アリの速さを調べる～動画をとって速さを調べる～
2月18日	気圧センサーで迷子を探す?
3月3日	発表準備: パワーポイントの使いかたと資料の見せ方
3月10日	研究発表: これまでに行った実験から一つ選んで、みんなの前で発表しよう!

■宇宙ロボットクラブ

対象: 小学3年生以上、クラブメンバー数: 前期20人、後期20人、講師(敬称略): 清水楓太

実施日	内容(前期)
4月2日	PCとプログラミングソフトの使いかたを練習しよう!
4月16日	「月面基地着陸ミッション」を成功させよう
5月7日	赤外線センサーで防犯装置!?
5月21日	「クレーター脱出」ミッション出口が一つしかないクレーターから脱出できるか?

6月4日	「数を数える」ミッション！この道を通ったのは何回目？ロボットに数を数えさせるにはどうするか？
6月18日	「電子温度計」ミッション Part 1 危険な温度になったら警報を鳴らそう。
7月2日	「電子温度計」ミッション Part 2 温度を液晶に表示しよう
7月16日	「障害物をよけろ」ミッション！超音波センサーを使って、月面にごろごろしている岩をよけて走れるか
7月30日	「センサーを2つ使ってみよう」ミッション！これまでに使ったセンサーを2つ以上使うには
8月6日	総復習今までのプログラムを振り返る
8月20日	ミニコンテスト課題の練習
8月27日	ミニコンテスト！
実施日	内容(後期)
10月15日	PCとプログラミングソフトの使いかたを練習しよう！
10月29日	「月面基地着陸ミッション」を成功させよう
11月12日	赤外線センサーで防犯装置！？
11月26日	「クレーター脱出」ミッション出口が一つしかないクレーターから脱出できるか？
12月10日	「数を数える」ミッション！この道を通ったのは何回目？ロボットに数を数えさせるにはどうするか？
12月24日	「電子温度計」ミッション Part 1 危険な温度になったら警報を鳴らそう。
1月7日	「電子温度計」ミッション Part 2 温度を液晶に表示しよう
1月21日	「障害物をよけろ」ミッション！超音波センサーを使って、月面にごろごろしている岩をよけて走れるか
2月4日	「センサーを2つ使ってみよう」ミッション！これまでに使ったセンサーを2つ以上使うには
2月18日	総復習今までのプログラムを振り返る
3月3日	ミニコンテスト課題の練習
3月10日	ミニコンテスト！

■DX時代のデータ活用クラブ(ZOOMIによるオンライン、前期のみ実施)

対象:18歳以上、クラブメンバー数:5名、講師(敬称略):清水楓太

実施日	内容
4月6日	部署によって異なるフォーマットの名簿を同じフォーマットへ
4月20日	スキルによってこれだけ違う処理時間を体験してみましょう
5月18日	ファイルやフォルダなど、データを共有するときの約束事
6月1日	データは検索と抽出が仕事の半分を占める 必要なデータを見つけるには
6月15日	代表的な業種でのデータセットを使った実践練習
6月22日	データは可視化が重要。クロス集計で作業時間は10分の1以下に短縮できる
6月29日	代表的な業種でのデータセットを使った実践練習
7月13日	代表的な業種でのデータセットを使った実践練習
8月10日	代表的な業種でのデータセットを使った実践練習
8月17日	データを会議の途中で素早く分析し、その場で結論を出すための統計指標
8月24日	小学校で必修となった「度数分布」はなぜ必修なのか
9月7日	最終問題 ある会社のデータセットから、指定された資料を作成する

■Web制作クラブ(ZOOMIによるオンライン、後期のみ実施)

対象:18歳以上、クラブメンバー数:7名、講師(敬称略):清水楓太

実施日	内容
10月19日	Webサイトの仕組みを知ろう
11月2日	環境を整えよう

11月16日	ページのデザインを考える
11月30日	画像の編集をしてみよう
12月14日	動的サイトと静的サイト
12月21日	WordPressを導入する
1月11日	ローカル環境(オフライン)で編集してみる
1月25日	PHPの基本①
2月8日	PHPの基本②
2月22日	データベースを使ってみよう
3月7日	【実践】簡易掲示板を作ってみよう①
3月14日	【実践】簡易掲示板を作ってみよう②

③学校連携

(a) 1日学習

福岡市立の小学4年生を対象とし、実験教室、ドームシアターでの学習投映、基本展示室体験を中心に、学校の要望に応じて複合的な学習を展開。

利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	177	884	1,786	714	0	1,785	1,602	1,376	1,333	1,521	1,418	697	13,293
件数	1	9	15	6	21	13	15	14	14	18	19	7	152

1日の時間割例(当日の参加学校数や児童数により変動)

■プログラム例(120名以下の場合)

10:00～10:15	朝の会		
10:30～11:15	ドームシアター 学習投映		
11:30～12:15	基本展示		
12:15～13:00	昼食		
13:15～14:00	実験教室(化学)	実験教室〈生物〉	実験教室〈物理〉
14:15～14:30	帰りの会		

■プログラム例(121名以上の場合)

2校(地球小学校・科学小学校)が別々に食事をとることができるように昼食の時間帯をずらして設定

10:00～10:15	朝の会(地球小学校・科学小学校)		
10:30～11:15	ドームシアター 学習投映(地球小学校・科学小学校)		
11:30～12:15	地球小学校実験教室		
	実験教室〈化学〉	実験教室〈生物〉	実験教室〈物理〉
	科学小学校 昼食		
12:30～13:15	地球小学校 昼食		
	科学小学校 基本展示室体験		
13:15～14:00	地球小学校 基本展示体験		
	科学小学校実験教室		
	実験教室〈化学〉	実験教室〈生物〉	実験教室〈物理〉
14:15～14:30	帰りの会(地球小学校・科学小学校)		

(b) 出前授業(移動天文台事業・移動科学館事業含む)

福岡市内の小学校・中学校などを対象とし、学校の依頼に応じて移動天文車や移動科学館車を活用し、天体観測や移動プラネタリウム、サイエンスショー、科学実験プログラム等を実施。

また、科学館スタッフが演示をする『ゲストティーチャー型』と児童が演示をするのを手助けする『活動支援型』を実施。

『ゲストティーチャー型』(授業時間内)

訪問先	実施日	参加者数	訪問先	実施日	参加者数
春吉小学校5年生	7月3日	27	花畑小学校	11月13日	87
原北小学校6年生	7月6日	106	野多目小学校	11月16日	28
百道浜小学校3年生	7月14日	75	城南小学校	11月17日	269
笹丘小学校	7月18日 7月19日	654	青葉小学校4年生	11月20日	116
青葉小学校3年生	9月1日	123	大池小学校	11月24日	33
東若久小学校クラブ	9月14日	20	今津小学校6年生	11月27日	26
筑紫丘小学校クラブ	9月25日	30	春吉小学校4年生	11月30日	32
原北小学校	10月4日	92	周船寺小学校	12月6日	112
小呂小中学校	延期数回 のち中止	0	青葉小学校クラブ	12月7日	39

今津小学校5年生	10月6日	35	西高宮小学校6年生①	12月11日	100
東箱崎小学校	10月10日	16	西高宮小学校6年生②	12月13日	100
今津小学校3年生	10月11日	32	飯倉小学校	12月14日	28
今津小学校4年生	10月12日	32	志賀島小学校	12月18日	16
百道小学校	10月16日	99	青葉小学校6年生	12月21日	129
飯倉中央小学校	10月18日	76	百道浜小学校クラブ	1月18日	25
若久小学校	10月23日	30	別府小学校クラブ	1月25日	24
北崎小学校クラブ	10月27日	12	福岡市若久特別支援学校	1月31日	50
有住小学校3年生	11月1日	32	西長住小学校	2月14日	35
青葉小学校5年生	11月6日	136	姪浜小学校クラブ	2月15日	30
下山門小学校クラブ	11月9日	30	原北小学校クラブ	2月22日	33
計				2,969	

『ゲストティーチャー型』(授業時間外)

訪問先	実施日	参加者数	訪問先	実施日	参加者数
草ヶ江小放課後児童クラブ	8月25日	130	弥生小放課後児童クラブ	1月5日	60
壱岐東小放課後児童クラブ	12月25日	15	愛宕浜小放課後児童クラブ	3月26日	35
福浜小放課後児童クラブ	12月26日	30	南当仁小放課後児童クラブ	3月29日	54
有住小放課後児童クラブ	12月27日	30	計		354

『活動支援型』

訪問先	実施日	参加者数
笹丘小学校	7月19日	63
計		63

(c) 学校教員との連携

●教員向けセミナー、定例会 等

内容	実施日	回数	参加者数
一日学習説明会 (Zoomにて実施)	4月17日	1	138
福岡市小学校理科研究会5月定例会会場	5月10日	1	33
警固小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	5月24日	1	1
西新小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月1日	1	1
百道浜小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月14日	1	1
草ヶ江小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月19日	1	1
鳥飼小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月23日	1	1

田隈小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月26日	1	1
笹丘小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月28日	1	5
笹丘小4～6年希望者 サイエンスフェスタ出前授業	7月18日	1	28
名島小4年生1・2組 科学わくわく出前授業	8月30日	1	76
名島小4年生3・4・5組 科学わくわく出前授業	8月31日	1	115
西都小3年生 科学わくわく出前授業	11月9日	1	124
草ヶ江小学校2年生「まちたんけん」	11月10日、17日	2	18
創造アイデアロボットコンテスト福岡県中学生大会	11月19日	1	70
長尾小3年生 科学わくわく出前授業	2月21日	1	102
計		17	715

■博物館実習

内容	実施日	参加者数
2023年度 博物館学芸員実習	8月30日～9月3日、 6日～10日	5
計		5

④アウトリーチ活動

移動天文車や移動科学館を活用し、公民館や公共施設に出向いて、移動プラネタリウム、サイエンスショー、科学実験プログラム等を実施。

また、科学館スタッフが演示をする『ゲストティーチャー型』と地域の方々が演示をするのを手助けする『活動支援型』を実施。

『ゲストティーチャー型』

訪問先	実施日	参加者数	訪問先	実施日	参加者数
NHK福岡	5月3日	160	東住吉公民館	9月30日	2
長尾公民館	7月24日	30	大原公民館	10月8日	6
さわら台子ども会	7月27日	30	和白図書館	10月15日	30
飯倉公民館	8月2日	20	地下鉄フェスタ2023	10月22日	250
三宅公民館	8月3日	30	九州環境管理協会(まもる一む)	10月28日	30
下山門公民館	8月9日	30	若宮公民館	11月4日	10
金武公民館	8月10日	15	東若久小学校PTA	11月18日	104
今宿公民館	8月17日	7	企画展「プラネタリウム100周年 宇宙を創る」関連事業	12月24日	91
寺子屋せいりょう・西陵公民館	8月18日	20	塩原校区子ども会育成連合会	1月13日	24
佐賀県立名護屋城博物館	8月19日	58	板付公民館	2月10日	30
百道浜公民館	8月23日	20	名島校区おやじの会	2月11日	30
福重公民館	8月24日	20	草ヶ江公民館	2月17日	16
下山門1丁目子ども会	9月9日	20	当仁校区子ども会育成連合会	3月10日	30
東若久公民館	9月24日	80	四箇田公民館	3月27日	30
計				1,223	

『病院・福祉施設等』

訪問先	実施日	参加者数
社会福祉法人 自立の里 障がい福祉サービス事業所 大地	1月11日	30
九州大学病院 院内学級	3月8日	13
計		43

⑤サイエンスナビ活動

(a) サイエンスナビ

多様な情報を探索できるサイエンスナビシステムや、科学的な思考にいざなう書棚、ミッションボードなどで、科学の楽しさを体感できる空間。

(b) イベント(おはなし会)

実施日	参加者数	実施日	参加者数
4月15日	14	10月21日	19
5月20日	14	11月25日	25
6月24日	41	12月23日	24
7月15日	25	1月27日	17
8月26日	19	2月17日	19
9月16日	18	3月24日	28
計			263

(c) 図書貸出冊数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当館所蔵書籍	973	856	841	1,076	1,164	760	813	720	657	693	703	802	10,058
市図書館所蔵	9,231	8,367	9,311	9,327	9,101	9,267	8,491	8,280	8,050	7,753	8,723	8,218	104,119

(d) サイエンスナビ内展示物

主な展示場所: サイエンスナビ書棚・ガラス窓

内容	展示期間
鉱石・石の本	4月19日～6月20日
特別企画展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」関連書籍	5月15日～7月18日
特別企画展「ざんねんないきもの事典」関連書籍	6月21日～8月31日
ブックレビュー	7月19日～8月31日
新刊コーナー	9月1日～11月27日
九州電力 寄贈図書・送電・電柱	9月4日～30日
宮沢賢治と科学	10月1日～31日
新刊コーナー	11月1日～12月19日
暦について	12月20日～1月31日
SDGs	1月9日～2月20日
ゴッホ展関連書籍	2月21日～6月16日
アインシュタインについて	3月19日～4月30日

(e) サイエンススポット登録

12箇所を新規登録。

櫛田神社前、橋本車両基地、六本松公園、無患子の実、季節の楽しみ方、大濠公園の木々、タラヨウの木、旧簀子小学校の赤レンガ塀、かもめ広場、福岡初の水上飛行場、黒瀬神社、福岡城址(春)

(5) 交流事業

①地域交流

■421の日イベント「国産木材でつくるキーホルダー」

期間	4月22日
会場	工作室2
参加者数	21人
主催	福岡市科学館
実施内容	日本は山にたくさんの木が生えています。その木は住宅を建てたり家具を作ったりするのに使われています。今回のイベントでは、国産材の森のしくみや魅力を学び、丸鋸と電動ドリルを使う体験をして、キーホルダーをつくって持ち帰りました。

■2024かがくまつり

期間	3月27日
会場	交流室1、実験室1、2、3
参加者数	455人
主催	福岡市科学館
実施内容	福岡市内に点在する学校の学生及び生徒が先生役として科学館に集合し、未就学児とその保護者に科学に親しんでもらうフェスタを開催しました。各大学が実施するワークショップの内容は各大学の先生方と科学館が監修します。科学に興味のない地域の親子が気軽に参加でき、地域の大学生、高校生とふれあうなかで科学に関心を持つことができるイベントとなりました。

②リポート利用に向けた取り組み

(a) 科学館ファンクラブの登録者数及び運営状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	35	27	31	33	46	28	26	15	23	19	40	25	348
開館からの累計													4,961

(b) 年間パスポート購入枚数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	166	121	89	199	185	106	78	54	62	114	104	120	1398

③広報・情報発信の状況

(a) 広報誌、リーフレット、ホームページ 等

種別	内容	発行時期	備考
館案内リーフレット	日本語/英語併記版、日本語/中国語(簡・繁)併記版、日本語/韓国語併記版	随時	
施設案内	各フロア紹介、施設利用案内、マップ、各種料金などを掲載	随時	
福岡市科学館 年報	2022年度(令和4年度)版	年1回	館ホームページに掲載
季刊誌「SCIENCE & CREATIVE」	科学に関する解説や、館の行事予定などを掲載	年4回	Vol.16～19 11万5千部
アクティビティタイムテーブル	サイエンスショー、科学実験プログラムなど活動の情報を掲載	毎月	
投映スケジュール	ドームシアターの番組情報や投映スケジュールを掲載	毎月	
ポスター	特別展やドームシアター番組などを掲出	随時	地下鉄や市の広報板など
チラシ	イベントごとにチラシを作成し配布	随時	市民利用施設など
市内小中学校生無料券引換チラシ	基本展示室とドームシアター一般番組が利用可能	年1回	市内全小中学校生の児童生徒に配付(約13万部)
デジタルサイネージ	特別展やドームシアター番組などを掲出	随時	地下鉄六本松駅、六本松421内1、3、4、6階など
ホームページ	館の情報提供やイベント案内などを掲載	随時	
ツイッターなどSNS	館のイベント情報などを発信	ほぼ毎日	

(b) メディア掲載件数

放送	57件
新聞、出版、情報誌、WEB掲載等	468件

(c) 情報発信(おうちde科学館)

当館の活動プログラム等を紹介するコンテンツ発信をHPやSNSで行なう。科学館に直接足を運ぶことのできない遠方の方や、臨時休館中でも、当館の取組みや科学情報を提供できる。

タイトル	アップロード日	媒体
牧野富太郎を生んだ江戸時代の本草学	4月3日	HP
[レポート]大人のサイエンス&クリエイティブクラブ作品紹介	4月10日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンススポットまちあるき～福岡城址編～	5月10日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]プラネタリウム100周年記念 特別投映	5月10日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンスカフェ「有吾式 天気予報の楽しみ方」	5月17日	HP、Facebook、X、Instagram

[天文トピック]流れ星を見てみよう！	6月7日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンスカフェ「博多祇園山笠のサイエンスカフェにきてみんしゃい！」	6月15日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンスカフェ「オランウータンと私たち」	6月21日	HP、Facebook、X、Instagram
[天文トピック]七夕の星のおハナシ	7月6日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンスカフェ「サイエンスコミュニケーションってなんなんだ？～メキシコへ飛び立った大学生のおはなし～」	8月19日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンスカフェ「セミの歌を聴いてみよう！～実は不思議なセミの話～」	8月23日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート／動画配信]未来研究室 シンポジウム「認知症問題解決のためのサイエンス」	9月14日	HP、Youtube
[レポート]フィールドワーク「サイエンススポット まち歩きワンアップ ～地下鉄編～」	9月23日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]フィールドワーク「のぞいてみよう 顕微鏡からみえる世界」	9月25日	HP、Facebook、X、Instagram
[推し科学本]サイエンス☆ブックレビューコンテスト	10月4日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]大人のデジタル工作クラブ	10月4日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]プラネタリウム100周年記念イベント	10月21日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンススポットまち歩き～旧福岡港海岸線編～	12月2日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]サイエンスカフェ「みんなのために損できる？～社会的ジレンマの不思議～」	12月26日	HP、Facebook、X、Instagram
[レポート]大人のデジタル工作クラブ	3月27日	HP、Facebook、X、Instagram

(6) 育ち支援、ネットワーク形成事業

①科学館運営へのこどもの参画

【キッズクルー活動日】

実施日	回数	参加者数	実施日	回数	参加者数
4月13日、27日	2	6	10月12日、26日	2	5
5月11日、25日	2	6	11月9日、30日	2	5
6月8日、22日	2	6	12月7日、21日	2	5
7月13日、27日	2	6	1月11日※1、25日	2	6
8月17日、24日	2	4	2月8日※2、29日	2	11
9月14日、28日	2	5	3月14日、21日※3、28日	3	13
計				25	78

※1 1月11日は福岡空港視察の館外活動

※2 2月より、キッズクルー2期生(3名)追加で合計6名となる

※3 3月21日はキッズクルー1期生のみ実施

【キッズクルー実施内容】

・活動紹介パネルの作成

これまでキッズクルーの活動を紹介する場、というものが無かったため、来館者に紹介できるよう活動紹介パネルの作成を行った。これまで「アワードの審査員になろう」編と「パンフレットをつくろう」編の大きく二つの活動を行ってきたため、それぞれコルクボード1枚で紹介することとした。完成したパネルは工作室2の窓際に掲示し、多くの来館者が見て下さる掲示物となった。

・サイエンスショーの実演

キッズクルーは昨年、お手伝い役としてサイエンスショーに出演した。その時の経験が彼らにとっても大きなものとなったようで、次は主演としてサイエンスショーに出演したいという意欲を見せた。キッズクルーの活動内や自宅での練習を重ね、キッズクルーによるサイエンスショー(7月13日)を実現させた。



②運営サポーター活動

登録者総数 60人(2024年3月現在)

【サポーター募集】

内容	実施日	回数	参加者数
サポーター募集説明会	10月6日、9日	2	15
新運営サポーター研修	4月14日、15日、16日、11月23日、25日、12月2日、6日、20日、23日、1月10日、14日、24日、28日、2月10日、14日、23日、28日、3月15日、19日	19	106
計		21	121

【サポーター研修】

内容	実施日	回数	参加者数
基本展示室展示アイテム研修	4月26日、5月13日、14日、18日、6月16日、30日	6	38
フィールドワーク研修	10月14日	1	9
計		7	47

【サポーター活動】

内容	実施日	回数	参加者数
サポーター定例会 奇数月	5月27日、7月22日、9月30日、11月26日、1月27日、3月23日	6	75
おはなし会	5月20日、7月15日、8月26日、10月21日、12月23日、2月17日、3月24日	7	28
つくるとラボ	4月16日、27日、5月8日、21日、6月8日、18日、28日、7月5日、19日、23日、8月27日、9月4日、18日、10月16日、29日、11月6日、19日、12月9日、18日、1月15日、27日、2月3日、14日、28日、3月10日、18日、20日、24日	28	122
一日学習 補助活動	5月17日、18日、24日、25日、26日、29日、31日、6月5日、8日、9日、14日、16日、19日、21日、22日、26日、28日、29日、7月3日、5日、6日、7日、12日、13日、14日、9月1日、4日、7日、8日、11日、15日、20日、21日、22日、27日、29日、10月4日、5日、6日、12日、13日、16日、20日、23日、26日、27日、30日、11月6日、13日、16日、20日、22日、24日、27日、29日、30日、12月1日、4日、11日、13日、15日、18日、20日、21日、1月11日、12日、15日、17日、18日、19日、22日、25日、26日、31日、2月2日、7日、9日、15日、16日、19日、26日、29日、3月1日、4日、6日、7日、11日、15日	88	168
基本展示室展示アイテムサポート活動	6月3日、5日、8日、9日、10日、12日、14日、16日、17日、18日、19日、21日、22日、24日、25日、26日、28日、29日、7月3日、5日、6日、7日、8日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、19日、22日、23日、25日、26日、29日、30日、31日、8月4日、5日、7日、9日、11日、12日、14日、16日、20日、23日、26日、27日、28日、9月2日、3日、4日、7日、9日、13日、14日、15日、16日、18日、20日、21日、22日、23日、25日、27日、29日、30日、10月2日、4日、7日、8日、9日、11日、15日、16日、18日、21日、23日、25日、26日、28日、30日、11月1日、2日、4日、6日、12日、13日、17日、19日、20日、22日、23日、25日、26日、27日、29日、12月11日	143	216

	日、13日、17日、20日、21日、23日、25日、1月6日、8日、11日、13日、19日、24日、25日、29日、31日、2月2日、3日、5日、7日、10日、12日、15日、17日、18日、23日、26日、29日、3月2日、4日、6日、9日、10日、11日、15日、16日、17日、18日、21日、22日、23日、24日、25日、27日、30日		
フィールドワーク	4月8日、6月8日、7月29日、8月2日、19日、9月7日、29日、10月14日、26日、2月3日	10	18
オープンラボ「体験キット」活動 説明会・体験勉強会	4月8日、30日、5月28日、6月24日、7月1日、8月22日、9月23日、10月28日、11月12日、12月2日、2月10日、3月10日	12	89
「科学おもちゃであそぼう」体験キット活動	5月6日、6月11日、7月1日、8月22日、9月23日、10月15日、11月4日、12月17日、1月6日、21日、2月18日、3月10日	12	100
「はっけん！福岡のすごい石展」補助活動	4月9日、5月13日、14日、15日、17日、18日、20日、21日	8	33
「ざんねんないきもの事典」関連プロジェクト会議	4月23日、5月27日、6月24日、7月22日	4	29
「ゴジラ缶バッチをつくろう」補助活動	4月29日、5月5日	2	6
基本展示室に入りやすくする方法	7月8日、29日、8月8月7日、11日、19日、26日、9月30日、10月29日、11月26日、1月27日	10	35
「ざんねんないきもの事典」関連イベント おもしろいきものおってならべてぬってみよう	8月20日	1	11
サイエンスカフェ	8月4日、11月11日、1月20日	3	8
環境フェスティバル ふくおか2023	10月7日	1	1
サポーター発表会「たいけんフェス」打ち合わせ	10月29日、11月26日、12月23日、1月27日、2月17日、3月23日	6	50
福岡城 秋の舞鶴公園であそぼう「スーパー紙飛行機をつくろう」	11月3日	1	6
サポーターズプログラム「たいけんフェス」サポーター発表会2023年度	3月24日	1	16
計		371	1,179

③サイエンスキャスト活動

【サイエンスキャスト研修】 テーブルサイエンス研修

実施日	参加者数	実施日	参加者数
4月1日	6	10月7日	5
5月13日	9	11月11日	4
6月3日	8	12月2日	4
7月8日	6	1月13日	4
8月12日	6	2月3日	4
9月2日	6	3月2日	6
計			68

【テーブルサイエンス実施】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	257	225	244	254	284	234	235	241	235	253	221	272	2,955



④連携事業

(a) 他団体との連携

内容	実施日	参加者数	主催・共催等(敬称略)
ゴジラのキャンドルをつくろう！	4月18日、4月19日	45	株式会社東京ミモレ
空の文化講演会	4月19日、5月31日、6月14日、7月19日、8月23日、10月19日、11月16日、12月21日、1月1日、2月15日、3月28日	183	久留米工業大学
お醤油屋さんの科学教室	4月22日、7月22日、12月9日	156	宮島醤油株式会社
ロボスイミーをつくろう！	4月23日	23	坂本昌巳(株式会社AQUA)
ゴジラのぬりえ缶バッジをつくろう	4月29日、5月5日	200	東宝株式会社
NHKどんたく広場2023「ひえひえ液体チツソでショー」	5月3日	165	一般社団法人日本マチュア無線連盟
映像の魔術・特撮 雲海づくりを体験しよう！	5月6日	163	福岡特撮座談会、特撮のDNA製作委員会

福岡石の会 90周年記念講演会	5月13日	178	福岡石の会
ミュージアムウィーク	5月13日～21日	—	福岡ミュージアム連絡会議
福岡石の会 ONE DAY 博物館	5月14日	951	福岡石の会
第61回こどもの交通安全大会	7月13日	124	交通事故を無くす福岡県県民運動本部
親子で学ぼう！カーボンニュートラル	7月16日～17日	1,709	福岡市トヨタ自動車九州株式会社/トヨタ自動車株式会社 (TOYOTA-Gazoo Racing)
福岡大学西新病院健康セミナー	7月19日、10月18日、12月15日、2月16日	551	福岡大学
無料3Dプログラミング教室『学び合い』	8月3～5日	68	株式会社リーンシステム
いきもののキャンドルをつくろう！	8月25～27日、9月2日、3日	249	株式会社東京ミモレ
第15回 福岡インディペンデント映画祭2023	9月1日～3日	506	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
地元のことから未来のことまでまなぶMON	9月9日	60	イオンモール株式会社イオンモール筑紫野
Springin' ワークショップ	9月17日～18日	75	福岡市水道局
いいかげんなロボット展	9月23日	568	新学術領域 ソフトロボット学：東京工業大学、九州大学
国産木材でベンチをつくろう	10月7日	22	株式会社未来工房
The Creators 2023	10月20日～22日	1,362	クリエイティブ福岡推進協議会
地下鉄フェスタ2023	10月22日	250	福岡市交通局
発明工夫展/科学わくわくコンテスト	10月25～29日	442	発明協会福岡支部、福岡市教育委員会
ひらめき☆ときめきサイエンス	10月28日	16	九州産業大学
街-1グランプリ2023 @福岡	11月3日	78	株式会社九州博報堂
“反重力”折り紙をとばそう	11月4日、5日	39	福岡サイエンスクラブ
『宇宙兄弟』読書会	11月13日	26	株式会社コルクラボギルド
しらスタのリアル歌唱力向上委員会 in 福岡	11月19日	106	福岡市科学館
葉一の「とある男の出張相談室&講演会」	12月17日	57	福岡市科学館
動画編集に挑戦！	12月17日、22日	21	長崎国際大学
鞍手高校サイエンスコミュニケーション研修	12月20日	40	福岡県立鞍手高等学校
ひまひまちゃんと一緒にスライムをつくろう！	12月23日	37	福岡市科学館
小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い	1月21日	113	公益財団法人大隅基礎科学創成財団
テクノアートプロジェクト	2月5日	2,886	九州産業大学 芸術学部+理工学部

キヅキにきづく！？科学の“め”を味わうワークショップ	3月2日	23	公益財団法人稲盛財団
ワークショップコレクションin福岡2024	3月16日～17日	68	株式会社グッデイ、特定非営利活動法人CANVAS
日本宇宙少年団福岡分団設立30周年記念「宇宙講演会」	3月17日	58	日本宇宙少年団福岡分団
～生活を守り、命を守る～私たちの暮らしを支える『セメント工場』を見てみよう！	3月26日	22	一般社団法人セメント協会
電子顕微鏡でみるミクロの世界の不思議?!	3月27日	17	サイエンス福岡クラブ
九産大AI aquarium	3月29日	17	九州産業大学
素粒子って何だろう？カードゲームで遊びながら学んでみよう！	3月30日、31日	80	九州産業大学 芸術学部+理工学部
計		11,754	

※参加者数の「－」は集計不可能なイベントを示す

(b) 科学館間の連携

内容	実施日	参加者数	協力館等(敬称略)
日本プラネタリウム協議会(JPA)2023年度 第1回 理事会	5月15日	11	オンライン
第33回全国科学館連携協議会総会	6月26日	50	日本科学未来館
第32回 指定都市科学館連絡会議	12月26日	22	北九州市科学館(スペースラボ)
計		83	

(7) 調査研究事業

①九州大学との共同研究

1. サイエンス&クリエイティブによる新たな科学館活動の基礎理論と具体的プログラムの開発研究
2. 新しい時代の博士を育成するための教育プログラム立案に関する研究

(a) ジュニア科学者養成講座 ダーウィンコース(中級編)

日程	内容	実施日	時間
第1回	アリの回	5月14日	13:00～16:00
	探Qゼミ	5月28日	14:00～16:00
第2回	街の回	6月11日	13:00～16:00
	探Qゼミ	6月25日	14:00～16:00
第3回	食の回	7月9日	13:00～16:00
	探Qゼミ	7月23日	14:00～16:00
第4回	川の回	9月10日	13:00～16:00
	探Qゼミ	9月24日	14:00～16:00
第5回	心の回	10月22日	13:00～16:00
	人類史の回	10月29日	13:00～16:00
まとめの回	まとめの回	11月12日	13:00～16:00

【内容】

科学者に必要な探究心や知的好奇心のほか、観察や実験を通じた実践的な「科学する力」を養う。

中級編では生命科学・人間科学・環境科学をベースに全11回の講座を行なった。

本講座では研究者の入り口を体験しながら、今後研究者になるために必要なコミュニケーション・チームワークを学んだ。探Qゼミでは本講座での振り返り、アウトプットするため「表現」の時間を設けた。

表現では大学教員、大学院生、科学館スタッフと共に参加者が疑問に思ったことや講座で体験したことを用意された画材だけを使って伝える力、表現する力、想像する力、考えを進める力を養った。

【講師(敬称略)】

矢原 徹一	福岡市科学館・館長 九州大学 大学院 理学研究院・名誉教授 一般社団法人九州オープンユニバーシティ・理事兼研究部長
村上 貴弘	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター・准教授 一般社団法人九州オープンユニバーシティ・理事
鹿野 雄一	一般社団法人九州オープンユニバーシティ・理事
江口 久美	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター・特任助教 一般社団法人九州オープンユニバーシティ・理事
比良松 道一	新潟食料農業大学 食料産業学部食料産業学科・教授 一般社団法人九州オープンユニバーシティ・代表理事
竹内 太郎	九州オープンユニバーシティ学術研究員
銭 琨	九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構・准教授 一般社団法人九州オープンユニバーシティ・理事
平井 康之	九州大学 大学院 芸術工学研究院・教授

【成果物】



(b) ジュニア科学者養成講座 ダーウィン・ニュートンゼミ

日程	内容	実施日	時間
第1回	自己紹介、ChatGPT、タンポポ調査	4月9日	13:30～15:30
第2回	土壌pH、電気伝導調査	5月21日	13:30～15:30
第3回	パリオのおはなし、土壌pH、電気伝導調査	6月4日	13:30～15:30
第4回	土壌pH、Rでの分析、参加者プレゼン	7月16日	13:30～15:30
第5回	環境保全について	9月16日	13:30～15:30
第6回	ピンチを回避する方法	9月30日	13:30～15:30
第7回	葉脈標本、ザンビアのおはなし、参加者プレゼン	11月19日	13:30～15:30
第8回	葉脈の観察	12月10日	13:30～15:30
第9回	美しい、好まれる景観	1月21日	13:30～15:30
第10回	大濠公園景観アンケート分析	2月11日	13:30～15:30
第11回	大濠公園タンポポ土壌調査	3月10日	13:30～15:30

【内容】

ジュニア科学者養成講座のダーウィンコースまたはニュートンコースの中級を修了し、さらに探求を深めることを希望するメンバーを対象に、中学・高校を通じて探求心を育て、研究に取り組む場の提供を行った。受講生が自分で調べたことや経験などを同じ受講生に発表する時間と、専門分野の研究を館長や大学教員と一緒に体験した。

【講師(敬称略)】

矢原 徹一	福岡市科学館 館長 一般社団法人 九州オープンユニバーシティ 理事
江口 久美	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター・特任助教 一般社団法人 九州オープンユニバーシティ 理事

【成果物】



②未来研究室

(a) スタンフォード大学 西村俊彦顧問との連携による、科学館事業の魅力創出と新規事業の模索。

実施日	回数	実施日	回数
4月3日、10日、17日、24日	4	10月2日、16日、23日、30日	4
5月1日、8日、29日	3	11月13日、27日	2
6月12日、19日、26日	3	12月4日、11日、25日	3
7月3日、10日、17日、24日	4	1月15日、22日	2
8月7日、21日、28日	3	2月12日、26日	2
9月4日、11日、25日	3	3月4日、11日、25日	3
計			36

前期は主にSDGs家族会議の新しいあり方を協議。講座部分を見直し、より体験型で低年齢層も参加しやすく、低学年児童も含めた家族全員の意見を提案に反映できるワークショップ型を目指す手法が協議された。その結果、新しいサイエンスコミュニケーションにチャレンジする連続講座が計画され、9月～12月まで7回に及ぶ「SDGs家族会議」が実施された。後期は、昨年より急速に進化し普及する人工知能への科学館での取り組みや、昨年に引き続き「超高齢社会のウェルビーイング」や「認知症」に関する情報交換が行われ、新しいテーマとして「金融プログラム」などが協議された。

③SDGs家族会議

家族がいっしょになって持続可能な社会の実現について何ができるのかを考え、アイデアを発表するワークショップ。第3回目となる2023年度は下記の通り実施した。

日程	内容	実施日	時間
第1回	「17の課題を知ろう」 講話＋ゲーム 講師：高木正太郎氏（福岡SDGs協会）	9月17日	10:00～12:00
第2回	「九大の森で持続可能な開発を考えよう」 講話＋九大の森フィールドワーク 講師：矢原徹一館長	10月1日	10:00～13:30
第3回	「海洋ごみから地球環境問題を考えよう」 講話＋アートワークショップ 講師：しばたみなみ氏（アーティスト）、撿崎心美氏（城南高校うみつなぎ）	10月15日	10:00～12:00

第4回	「ブラック校則とチョコレートから人権を考えてみよう」講話＋ワークショップ(ディベート) 講師:後藤富和氏(福岡県弁護士会校則PJチーム委員)、竹内太郎氏(九州オープンユニバーシティ学術研究員)	11月5日	10:00～12:00
第5回	「2030年の未来像を考える」話し合い＋作業 ファシリテーター:坂口麻衣子氏	11月19日	10:00～12:00
第6回	「未来へ、今できることを表現する」話し合い＋作業 ファシリテーター:坂口麻衣子氏	12月3日	10:00～12:00
第7回	「今できることを発表する」 発表会:全講師	12月17日	10:00～12:00

【内容】

参加家族全員が、SDGsを考え、意識変革し、行動変容することを目的とし、以下の3つの目標を設定。

- (1) SDGsの17の目標が相互に関連していることを理解する。
- (2) 参加者(特に子供)が、他者の考えを理解し、自分の考えを他者に伝え、議論を繰り返すことを通じて自分の考えを広げていくチカラを身につける。
- (3) 参加者(保護者とスタッフ)が、子供の「自発的に考える力」を伸ばすコミュニケーションスキルを身につける。

参加者(特に子供)が、他者の考えを理解し、自分の考えを他者に伝え、議論を繰り返すことを通じて自分の考えを広げていくチカラを身につけ、参加者同士がお互いの考え方を知り合い、認め合えるよう配慮した。また、参加者(保護者とスタッフ)が、子供の「自発的に考える力」を伸ばすコミュニケーションスキルを身につけ、スタッフや参加家族全員のコミュニケーションが向上するしくみづくりを行った。

(8) 施設貸出事業

① 諸室貸出利用件数

(単位: 件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスホール	22	21	19	23	19	20	16	17	16	10	16	22	221
ドームシアター	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5
企画展示室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	22	20	23	19	21	17	17	16	11	16	22	226

参考: サイエンスホール貸出稼働日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスホール	20	15	16	19	15	16	11	13	13	10	14	20	182

※サイエンスホールについては、1日に複数件貸し出しを行う場合があるため、利用件数と稼働日数が異なる場合がある。

② 企画展示室の貸室

2023年度貸出しなし

(9) スーパーサイエンスジュニア事業

スーパーサイエンスジュニアプロジェクト「ふくおかSSJ・こども科学研究所」第1期

期間：前期2023年4月～8月、後期2023年10月～2024年2月

参加者：前期17名 後期13名

第1期前期	
実施日	内容
4月8日	ロボットの組み立て 1からロボットを組み立てよう！
4月22日	プログラミングソフトに慣れる PC操作の練習。
5月13日	いろいろなセンサーを試してみよう
5月27日	センサー2個のプログラム
6月10日	ライントレースロボットを作ってみよう！
6月24日	外部センサーの使いかた
7月8日	サーボモーターでものを持ち上げよう！
7月15日	センサーを増やしてみよう 3つ以上のセンサーを使うには？
7月29日	総復習
8月12日	ミニコンテスト
第1期後期	
10月15日	ロボットの組み立て 1からロボットを組み立てよう！
10月29日	プログラミングソフトに慣れる PC操作の練習
11月12日	いろいろなセンサーを試してみよう
11月26日	センサー2個のプログラム
12月10日	ライントレースロボットを作ってみよう！
12月24日	ブザーを使ってモールス信号
1月7日	センサーを増やしてみよう 3つ以上のセンサーを使うには？
1月21日	総復習
2月4日	ミニコンテストの練習会
2月18日	ミニコンテスト

スーパーサイエンスジュニアプロジェクト「ふくおかSSJ・こども科学研究所」第2期

期間：前期2023年4月～8月、後期2023年10月～2024年2月

参加者：前期2名 後期6名

第2期前期	
実施日	内容
4月8日	1期の総復習、サブプログラム
4月22日	数を数えるにはどうするか？
5月13日	回数に応じて処理をかえる
5月27日	ループの条件づけ Break文、For文
6月10日	サーボモーターを使ってみる
6月24日	変数と条件付きループの組み合わせ
7月8日	変数と基本ブロックの組み合わせ
7月15日	変数を使った計算問題
7月29日	コンテスト課題の練習
8月12日	ミニコンテスト
第2期後期	
実施日	内容
9月23日	1期の総復習、サブプログラム
10月7日	数を数えるにはどうするか？
10月21日	回数に応じて処理をかえる

11月4日	ループの条件づけ Break文、For文
11月18日	サーボモーターを使ってみる
12月2日	変数と条件付きループの組み合わせ
12月16日	変数と基本ブロックの組み合わせ
1月13日	変数を使った計算問題
1月27日	コンテスト課題の練習
2月10日	ミニコンテスト

スーパーサイエンスジュニアプロジェクト「ふくおかSSJ・こども科学研究所」第3期

期間：前期2023年4月～8月

参加者：前期8名

第3期前期	
実施日	内容
4月2日	2期までの総復習(特に変数について)
4月16日	コードを使って書いてみよう
5月7日	センサー1個、2個のプログラムをコードで書く
5月21日	If文を書くときのコツ、ElseIf
6月4日	変数を自分で宣言してみよう For文との組み合わせ
6月18日	変数を使った計算と条件付ループとの組み合わせ
7月2日	超音波センサーの使いかた
7月16日	論理演算子を使ってみよう
7月30日	戻り値のある関数
8月6日	3期の総復習

(10) その他の実績

①活動の実績

国際プラネタリウム協会2026年大会(IPS2026)の開催を福岡に誘致。

日本プラネタリウム協議会、福岡観光コンベンションビューローと連携して誘致活動を進めていたが、2023年6月、米国・テネシー州キングスポートで開催された理事会にて最終プレゼンテーションを行い、投票の末に福岡市科学館をホスト館とする福岡開催が決定した。日本での開催は、1996年大阪大会以来30年ぶり2回目。

②職員の実績

(a) 受賞歴

■第17回キッズデザイン賞 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 キッズデザイン賞
福岡市科学館「SDGs家族会議 in FUKUOKA 笑顔あふれる未来のために何ができるだろう」

■2023年度JASC日本サイエンスコミュニケーション協会(JASC)第12回年会
(ベストプレゼン賞 1位): 林 千恵『子供社会参画活動「キッズクルー」におけるサイエンスコミュニケーターの役割』

(b) 外部発表(執筆等)

なし

(c) 外部発表(口頭発表)

■日本ミュージアム・マネジメント学会 第28回大会
2023年6月4日
口頭発表 研究発表
『対話しながら「考え」「行動する」ことで主体的な「学び」を体験できる「表現」を取り入れた出前授業』
発表者: 井上香織

■2023年乃村文化財団 研究成果概要報告会・授与式
2023年7月12日
口頭発表 研究成果発表
『福岡市科学館基本展示室内クリエイティブアワードおよびキッズクルー事業』
発表者: 林千恵

■2023年度JASC日本サイエンスコミュニケーション協会(JASC)第12回年会
2023年12月10日
口頭発表 研究発表
『子供社会参画活動「キッズクルー」におけるサイエンスコミュニケーターの役割』
発表者: 林千恵

■令和5年度 全国科学博物館協議会 第31回研究発表大会

2024年2月22日

口頭発表 研究発表

『子供社会参画活動「キッズクルー」におけるサイエンスコミュニケーターの役割』

発表者: 林千恵

(d) 外部発表(ポスター発表)

なし

(e) 講師依頼

■神奈川大学 みなとみらい エクステンションセンター 講座

期日: 2023年6月9日

場所: 神奈川大学 みなとみらいキャンパス〔神奈川県横浜市西区〕

講師: 丹野佳代子

内容: 『銀河鉄道の夜』に登場する星や星座たちについての解説

■佐賀県立名護屋城博物館ナイトミュージアム2023

期日: 2023年8月19日

場所: 佐賀県立名護屋城博物館〔佐賀県唐津市鎮西町〕

講師: 丹野佳代子

内容: 名護屋城址天守台での天体案内

■プラネタリウム100周年 宙をつくる 特別イベント

期日: 2023年12月24日

場所: 佐賀県立宇宙科学館〔佐賀県武雄市武雄町〕

講師: 丹野佳代子

内容: 『銀河鉄道の夜』に登場する星や星座たちについての解説

プラネタリウム投映「冬の星空散歩」

■キトラ・プラネタリウム「冬の星座と中国星座」

期日: 2024年1月27日～28日

場所: キトラ古墳壁画体験館 四神の館〔奈良県高市郡明日香村〕

講師: 丹野佳代子

内容: 冬の星空で見られる西洋と中国の星座についての解説

(f) 外部監修

■『神秘的で美しい星図鑑』〔書籍〕

初版発行:2024年7月(予定)

発行所:株式会社ナツメ社

監修:丹野佳代子

■『エオルゼアの神々と星の物語』〔プラネタリウム作品〕

上映開始:2024年2月

上映施設:プラネタリアYOKOHAMA(横浜)、プラネタリウム満天(池袋)、プラネタリウム満天(名古屋)

制作協力:丹野佳代子(天文解説監修)

■『それいけ!アンパンマン 星空をかえせ』〔プラネタリウム作品〕

上映開始:2024年夏(予定)

上映施設:全国のプラネタリウム施設(予定)

制作協力:丹野佳代子(天文解説監修)

■『プラネタリウム ドラえもん～宇宙の模型～』〔プラネタリウム作品〕

上映開始:2024年夏(予定)

上映施設:全国のプラネタリウム施設(予定)

制作協力:丹野佳代子(天文解説監修)

(g) 委員委嘱

■日本プラネタリウム協議会(JPA) 理事

委員:丹野佳代子 (ほか5名)

任期:2022年6月6日～2024年6月(任期:2年間)

内容:日本プラネタリウム協議会(JPA)の運営に関わる業務

福岡市科学館 年報 2023年度(令和五年度)版
2024年 7月 発行

編集・発行

福岡市科学館

〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松4丁目2番1号

TEL 092-731-2525

FAX 092-731-2530